

平成24年度
龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書



平成25年8月
龍ヶ崎市教育委員会

目次

I	はじめに.....	1
II	点検評価の基本方針.....	2
III	教育施策の体系図.....	3
IV	点検評価の結果.....	4
1	義務教育の充実.....	4
(1)	学校教育の充実.....	4
(2)	魅力ある学校づくり.....	8
(3)	相談・支援体制の充実.....	14
(4)	情報教育・支援体制の充実.....	18
(5)	教育施設・設備の充実.....	20
(6)	学校給食の充実.....	21
(7)	安全な学校・地域づくりの推進.....	25
2	生涯学習の推進.....	27
(1)	生涯学習推進体制の充実.....	27
(2)	図書館の充実.....	29
(3)	人材・組織の育成と連携, 活用.....	33
3	青少年の健全育成.....	34
(1)	青少年の社会参画.....	34
(2)	青少年育成関係機関の連携.....	36
(3)	相談体制の充実.....	38
(4)	青少年を取り巻く健全な環境づくり.....	39
(5)	保育サービスの充実.....	41
4	スポーツの振興.....	43
(1)	総合運動公園の充実.....	43
(2)	競技水準の向上とスポーツ人口の拡大.....	45
(3)	指導者の育成と関係団体との連携.....	46
(4)	流通経済大学との連携促進.....	48
(5)	生涯スポーツの普及.....	49
5	芸術・文化の推進.....	50
(1)	文化財の指定・保護.....	50
V	教育委員会の運営状況.....	52



表紙のイラストは、平成 21 年度に「教育の日ロゴマーク」の募集を行い、優秀賞に選ばれた作品を使用しています。

なお、当市は平成 21 年 11 月 5 日に「龍ヶ崎教育の日宣言」を行い、11 月 5 日を「龍ヶ崎教育の日」、11 月を「龍ヶ崎教育月間」と定めています。

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが同法第27条に規定されました。

龍ヶ崎市教育委員会では、この「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正を受け、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、平成20年度より前年度の教育委員会の事務の点検及び評価を実施しています。

本報告書は、平成24年度に龍ヶ崎市教育委員会が実施した主要事業の実績に対する点検・評価としてまとめたものです。

なお、本報告書では、市長部局（まちづくり推進課）に補助執行している事業についても、点検評価を行っています。

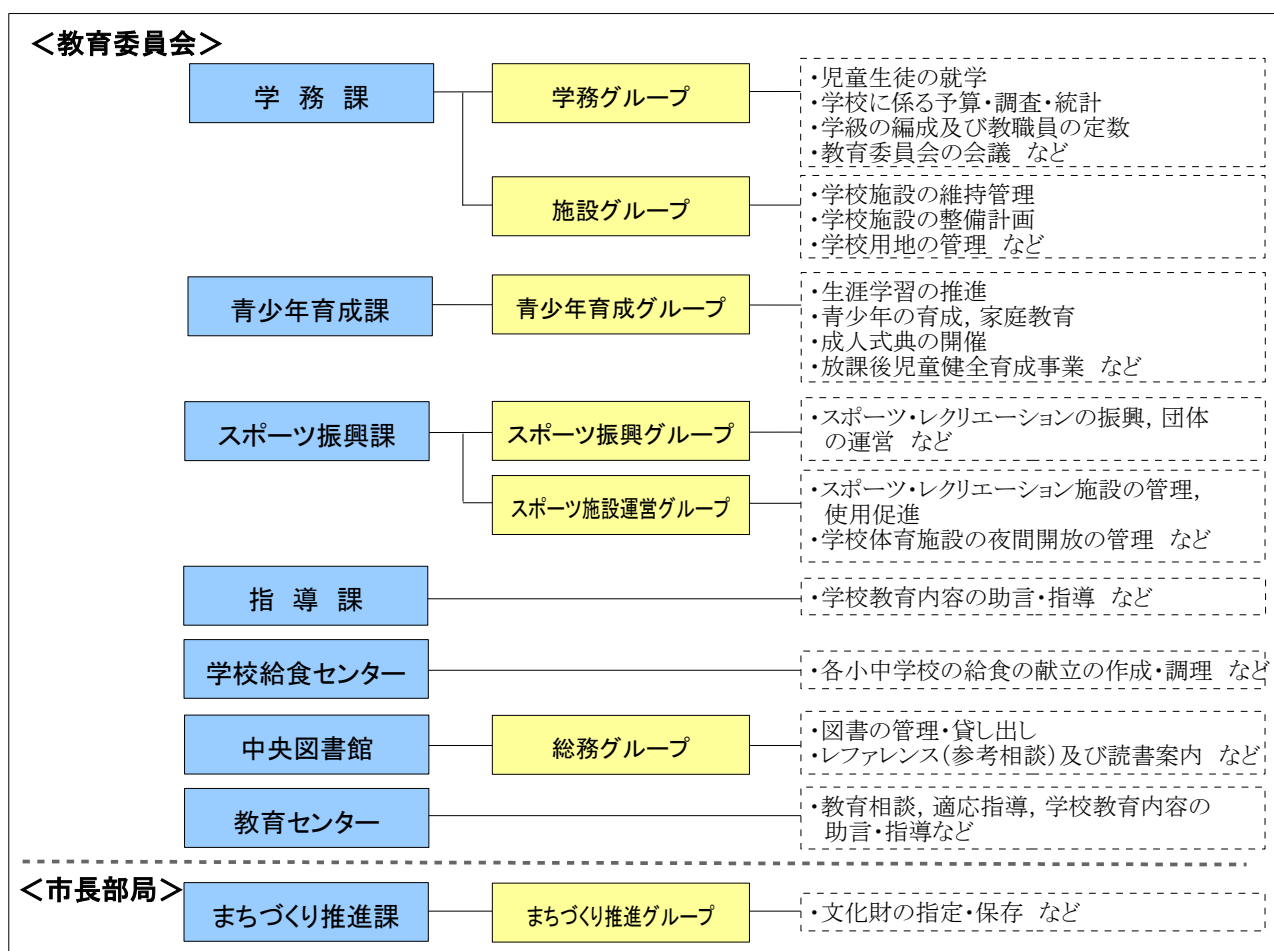


図1 龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価に係る組織図及び主な事務分掌

(参考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検評価の基本方針

本市では現在、平成23年度に策定した「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」を市の最上位計画に掲げていますが、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」は、これまで地方自治法に位置づけられていた総合計画とは異なります。これまでの総合計画は、市が実施する施策及び事業等を網羅的に掲載していたのに対し、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」は平成24年度から平成28年度までの5年度の間に重点的に取り組む施策及び主要事業等を掲載しています。

このため、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲載されている主要事業は、龍ヶ崎市教育委員会が所管する全ての主要事業を掲載しているものではありません。

今回、平成24年度に龍ヶ崎市教育委員会が実施した主要事業について点検評価を行うにあたり、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲載されている主要事業を含めた教育施策の体系図を整理します。

なお、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の主要事業の中で、龍ヶ崎市教育委員会が所管する主要事業は13事業です。



図2 ふるさと龍ヶ崎戦略プランの全体像及び教育委員会が所管する主要事業

Ⅲ 教育施策の体系図

教育施策の体系図及び平成24年度に龍ヶ崎市教育委員会が実施した主要事業については、以下のとおりです。

施策名	施策の内容	No	事業名	
1 義務教育の充実	(1) 学校教育の充実	1	学力の向上	
		2	学校図書の実践	
		3	小中学校の適正規模適正配置	
		4	龍・流連携事業の拡大	
	(2) 魅力ある学校づくり	5	龍ヶ崎教育市民会議の開催	
		6	学校・家庭・地域連携による特徴的な教育環境の創出	
		7	特色ある学校づくり	
		8	子どもが主役！魅力ある学校づくり	
		9	学校情報の積極的な発信	
		10	地域との交流事業の実施	
	(3) 支援体制の充実	11	教育支援体制の充実	
		12	就学援助費の支給	
		13	相談（支援教育・就学）体制の充実	
		14	特別支援教育の充実	
	(4) 情報教育・国際理解教育の推進	15	ICT（情報通信技術）教育の推進	
		16	外国語活動・外国語教育の充実	
	(5) 教育施設・設備の充実	17	学校施設の整備	
		18	医療費と給食費の負担軽減	
	(6) 学校給食の充実	19	学校給食センターの管理運営	
		20	小中学校における食育学習の推進	
		21	新たな運営方法の導入	
		22	通学路の安全確保	
	(7) 安全な学校・地域づくりの推進	23	防犯活動の推進	
24		龍ヶ崎市社会教育委員会議の開催		
2 生涯学習の推進	(1) 生涯学習推進体制の充実	25	生涯学習プログラム事業の充実	
		26	中央図書館の管理運営	
	(2) 図書館の充実	27	ブックスタート事業	
		28	子ども読書活動の推進	
		29	指定管理者制度等の運営方針の決定	
	(3) 人材・組織の育成と連携、活用	30	人材バンクの充実	
		31	職場体験活動の推進	
	3 青少年の健全育成	(1) 青少年の社会参画	32	成人式典の開催
			33	青少年センターの充実
(2) 青少年育成関係機関の連携		34	「龍ヶ崎地区更生保護サポートセンター」の開設	
		35	家庭教育及び青少年相談体制の充実	
(3) 相談体制の充実		36	遊びの拠点づくり	
		37	屋外広告物の巡視、指導等の実施	
(4) 青少年を取り巻く健全な環境づくり		38	保育・預かりサービスの充実	
		39	保育分野での連携	
4 スポーツの振興	(1) 総合運動公園の充実	40	総合運動公園の管理運営	
		41	総合運動公園の指定管理者制度の導入	
	(2) 競技水準の向上とスポーツ人口の拡大	42	スポーツ教室・スポーツフェスティバル等の開催	
		43	スポーツ指導者バンクの充実	
	(3) 指導者の育成と関係団体との連携	44	総合型地域スポーツクラブの育成	
		45	大学運動部のバックアップ	
	(4) 流通経済大学との連携促進	46	生涯スポーツの普及	
47		文化財の指定・保護		
5 芸術・文化の振興	(1) 文化財の指定・保護	48	まちの歴史・文化に関する知識の普及	

※ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業は、 で表記しています。

IV 点検評価の結果

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 学校教育の充実		
事業No	1	事業名	学力の向上
担当課	指導課		

実施状況	<p>(1) 学習充実指導非常勤講師の配置 学習充実指導非常勤講師を小学校に配置し、少人数指導やチームティーチング等を取り入れたきめ細かな指導を展開することにより、児童の基礎的・基本的な知識・技能の定着等を図りました。 学習充実指導非常勤講師の有効活用は、各学校で「配置活用計画」を作成し、その後、配置・活用状況に関して指導助言を実施しました。 なお、学習充実指導非常勤講師は、各学校規模や状況を考慮し、以下のとおり配置しました。 2人配置：八原小学校、馴柴小学校 1.5人配置：龍ヶ崎小学校、長戸小学校 1.3人配置：松葉小学校、長山小学校、馴馬台小学校 1人配置：その他の6校</p> <p>(2) 研修会の実施 少人数指導担当教員及び学習充実指導非常勤講師を対象に効果的な学習指導法のあり方について研修会を実施しました。 ・平成24年7月31日（火）実施 ・参加者：18名（少人数担当教員、学習充実指導非常勤講師） ・内容：少人数指導の課題と改善策について 少人数指導の指導法について（演習）</p> <p>(3) 学校訪問の実施 学校訪問では、学習充実指導非常勤講師を活用した授業を指導主事が参観し、指導助言を行いました。</p> <p>(4) 情報共有・交換の実施 各学校で実践した取組を「少人数指導事例」としてまとめ、庁内イントラネット上の共有ホルダーで閲覧可能としました。これに伴い、情報の共有化を図るとともに、教務主任研修会での情報交換を実施しました。</p>
成果・課題等	<p>少人数指導に関する各調査を実施した結果、「授業が理解しやすい」と答えた児童の割合が55.5%、「基礎的・基本的な知識・技能が高まっている」と答えた教員の割合が74.6%、さらに、平成25年1月に実施した「茨城県学力診断のためのテスト」において、「算数の計算技能における正答率」は87.6%（前年度比+6.1%）でした。 今後も引き続き、学習充実指導非常勤講師の有効活用と少人数指導の充実を図る必要があります。 また、担当教員との打合せ時間の確保等についても検討する必要があります。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 学校教育の充実		
事業No	2	事業名	学校図書の充実
担当課	学務課		

実施状況	<p>(1) 学校図書館司書嘱託員の配置 学校図書館司書嘱託員を19人採用し、全ての小中学校に1人ずつ配置しました。</p> <p>(2) 図書の購入及び廃棄 図書の購入及び廃棄を引き続き進めました。(小中計10,735冊購入, 3,549冊廃棄)</p> <p>(3) 調べ学習における学校図書館の活用 6月・11月・2月における学校図書館利用状況は、小学校では3か月間で延べ21,711人、中学校では延べ12,770人が調べ学習等で学校図書館が活用されていることが分かりました。</p> <p>(4) 配置時間の延長 平成24年度から司書の配置時間を年間875時間から950時間にしました。</p> <p>(5) 司書研修会の開催 司書研修会は、4月、9月・2月に全体会を開催し、5月に中学校単位でのブロック会、6月・11月・2月に小学校部会・中学校部会を開催しました。</p> <p>(6) 朝の読書の推進及び家庭での読書活動の支援 文部科学省による「学校図書館の現状に関する調査」を通して、小学校では13校全てが始業前に、中学校では5校が始業前、1校が授業中に、一斉読書を週に1回以上実施していることが分かりました。また、家庭での読書活動の支援は、小学校4校において、実施していることが分かりました。</p> <p>(7) 読書計画等の策定 19校全てから、読書に関する計画等の写しが提出されました。</p> <p>(8) 県事業への参加 「みんなにすすめたい一冊の本」事業に、19校全てが参加しました。</p> <p>(9) 読み聞かせなど特色ある取組の実施 文部科学省による「学校図書館の現状に関する調査」を通して、小学校全てで読み聞かせを実施していることが分かりました。学校でも必読書コーナーの設置など、一斉読書以外の特色ある取組を実施しました。</p> <p>(10) 学校図書館だよりの発行 全ての小中学校で「図書館だより」を発行しています。</p>
成果・課題等	<p>全ての学校の図書室に司書を配置することにより、児童生徒が興味をもったときに、すぐに本を手にすることができる環境を提供することができました。また、話題の図書等を購入することによって、児童生徒の読書に対する関心を高めることができました。児童生徒の自由な読書活動や読書指導の場として学校図書館が活用され、読書活動が推進されました(児童1人当たりの年間貸出し冊数49.9冊(達成目標46冊以上)、生徒1人当たりの年間貸出し冊数24.4冊(達成目標25冊以上))。</p> <p>また、社会や理科などの調べ学習に必要な図書を揃えることによって、児童生徒の自発的・主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与することができました。(調べ学習における利用人数は小学校では3か月で延べ21,711人、中学校では延べ12,770人) 夏休み中の来館者数は延べ2,086人となりました。</p> <p>更に質の高い蔵書を目指して古い図書を廃棄し図書の入れ替えを進めることに力を入れ、児童生徒に親しみやすい図書館作りを進めています(平成23年度末蔵書数206,203冊、同24年度末蔵書数214,928冊)。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 学校教育の充実		
事業No	3	事業名	小中学校の適正規模適正配置
担当課	学務課		

実施状況	<p>少子化の進行に伴い、次世代を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するという観点から、龍ヶ崎市立小中学校適正規模適正配置に関する基本方針に従い、小規模学校（北文間小学校、川原代小学校、大宮小学校）のPTA代表・地域団体等代表者との意見交換会を実施しました。</p> <p>特に児童数の減少が著しい長戸小学校については、保護者代表、地域団体等代表者、学校代表で構成される長戸小学校適正規模検討委員会において、学校の今後のあり方を検討していただき、意見書が取りまとめられ、教育委員会あてに提出されました。</p> <p>(1) 北文間小学校、川原代小学校、大宮小学校 平成24年6月29日（金）大宮小学校PTA代表・地域団体等代表者との意見交換会 平成25年2月22日（金）川原代小学校PTA代表・地域団体等代表者との意見交換会 平成25年2月24日（日）北文間小学校PTA代表・地域団体等代表者との意見交換会</p> <p>(2) 長戸小学校 平成24年5月21日（月）第3回長戸小学校適正規模検討委員会幹事会 委員長等の改選、アンケートについて 平成24年6月26日（金）第2回長戸小学校適正規模検討委員会 幹事会の経過報告 平成24年7月5日（火）、11日（水）保護者アンケート説明会（長戸小学校体育館） 平成24年7月12日（木）～20日（金）保護者アンケート実施 平成24年8月20日（月）第4回長戸小学校適正規模検討委員会幹事会 保護者アンケート結果について 平成24年9月3日（月）アンケート結果を保護者等へ周知 平成24年11月20日（火）、21日（水）保護者と教育委員会事務局職員との懇談会 平成24年12月6日（木）第5回長戸小学校適正規模検討委員会幹事会 保護者懇談会での意見等について 長戸小学校の今後の方向性について 平成25年2月12日（火）第3回長戸小学校適正規模検討委員会 幹事会の経過報告、検討結果の集約 平成25年3月15日（金）第6回長戸小学校適正規模検討委員会幹事会 長戸小学校の今後についての意見書の作成 平成25年3月27日（水）長戸小学校適正規模検討委員会から龍ヶ崎市教育委員会へ 意見書の提出</p>
成果・課題等	<p>長戸小学校適正規模検討委員会から、平成27年4月を目標に隣接する城ノ内小学校との統合が望ましい旨の意見書が教育委員会あてに提出されました。</p> <p>検討委員会から提出された意見を尊重し、今後は、統合に向けて保護者や地域の方に対する説明会等を開催し、統合について合意形成が図られるよう努めます。また、統合準備組織を立ち上げ統合に向かって具体的な話し合いを進めます。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 学校教育の充実		
事業 No	4	事業名	龍・流連携事業の拡大
担当課	指導課・企画課		

実施状況	<p>(1) 各学校への当該事業活用の推奨及び指導助言 教務主任会研修会（7/12, 9/5），教頭会研修会（2/12）において，活用状況について情報交換し，積極的な活用を推奨しました。 また，次年度の教育計画検討の際に，予め当該事業を活用した支援要望についても併せて協議するよう指導しました。</p> <p>(2) 支援要望の的確な把握 各小中学校への当該事業に関するアンケート調査を実施し，学校が望む支援内容を的確に把握するとともに，当該事業に関する様々な意見要望を伺いました。</p> <p>(3) 大学関係部署との連携強化 派遣学生の調整に当たっては，これまで大学総務課とインターンシップ担当教員で協議を行ってきましたが，新たに教育学習センター（一般学生公募担当）及び学生生活課（運動部等の部活担当）にも協議に加わっていただき，大学との連携体制の強化を図ったことで，平成24年度のボランティア学生数を増加させることができました。 ・61人（平成23年度実績）→95人（平成24年度実績）</p> <p>(4) ボランティア学生支援 ボランティア学生の派遣先学校までの移動手段確保の一助として自転車5台を寄贈しました。</p> <p>(5) 大学からの支援メニュー企画・提供 大学との連携体制を強化してきたことで，各小中学校から大学への支援要望という既存の仕組みに加え，大学側からも支援メニューを各学校へ提案する新たな仕組みを構築することができました。 ・「総合的な学習の時間」への支援…大学が提供できる内容を学校の望む形で支援 ・救急講習会…スポーツ健康科学部等の学生を講師として，心肺蘇生法や負傷者等搬送等を体験学習できる講習会</p>
成果・課題等	<p>各学校への当該事業の積極的活用の推奨やアンケート調査の実施等，平成24年度に予定した取組の全てを実施しました。当該事業の一層の活性化に向けては，アンケート調査結果で特に要望の多かった水泳授業支援への対応や大学から遠方に位置している学校までの学生の移動手段確保等について検討する必要があります。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 魅力ある学校づくり		
事業No	5	事業名	龍ヶ崎教育市民会議の開催
担当課	学務課		

実施状況	<p>龍ヶ崎教育市民会議の仕組みの構築に向け、「龍ヶ崎市まちづくり市民会議」での意見聴取に努めました。</p> <p>また、教育市民会議等を開催している他自治体の事例調査を行いました。その結果、教育市民会議等を開催した目的は、教育施策に関する意見交換、及び市民の声を教育施策へ反映していることなどが見受けられました。</p> <p>【龍ヶ崎市まちづくり市民会議】 (意見徴収日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年11月22日(木) ・平成25年1月31日(木) <p>(会議での主な意見)</p> <p>① 位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会への提言だけではなく、実行していく組織にする。 ・教育委員会は外部の意見を聞くことも必要。 <p>② 役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域で子どもを育てていく。 ・授業を直接サポートするのではなく、課外学習をサポートしていく。 <p>③ 構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体を対象としたものでなく、小学校区や中学校区単位で組織してはどうか。 ・学校関係者を入れるべきではないか。
成果・課題等	<p>龍ヶ崎教育市民会議の仕組みの構築に際しては、市民からの意見聴取が肝要であることから、「龍ヶ崎市まちづくり市民会議」での意見聴取に努めました。</p> <p>また、他自治体の事例調査の結果を踏まえ、龍ヶ崎教育市民会議の仕組みの構築とあわせて、会議を開催する目的について検討する必要があります。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 魅力ある学校づくり		
事業No	6	事業名	学校・家庭・地域連携による特徴的な教育環境の創出
担当課	学務課・青少年育成課		

実施状況	<p>(1) 龍ヶ崎教育の日推進事業</p> <p>11月の「龍ヶ崎教育月間」、11月5日の「龍ヶ崎教育の日」を中心に、教育の日推進事業に取り組みました。</p> <p>① 広報活動 広報紙、ホームページ、横断幕、のぼり旗、マグネットシート等により、教育の日の広報活動を実施しました。</p> <p>② 作品募集 ・「我が家の約束ごと」作品募集（応募：2,777件） 各家庭で大切にしたい約束ごとを親子で一緒に考えた作品を募集し、家庭で実践してもらい、応募作品（抜粋）は、広報紙・ホームページで紹介したほか、小中学校・幼稚園・保育所等に配布しました。 ・「親子で作る給食献立」作品募集（応募：130件） 「子ども達が苦手なお魚をつかったメニュー」のレシピ・写真を募集し、最優秀賞・優秀賞作品を献立とした給食を2月・3月の市内小中学校で提供しました。</p> <p>③ 市内小中学校・幼稚園・保育所の自由参観及び取組紹介 市内小中学校で「教育の日」を中心に自由参観日を設定するとともに、「教育月間」に様々な取組みを実施し、地域の方々に日頃の子どもたちの様子を見てもらいました。私立幼稚園・公立保育所・私立保育所（一部）についても、同様に実施しました（自由参観日の参観者：小学校 3,364人、中学校 362人、合計 3,726人）。</p> <p>④ 中中連携「龍の子サミット2012」の参観 市内6中学校の子どもたちが生徒会活動などの実践発表をしたり、共通テーマのもと活発に意見交換する姿を通じて、子どもたちの教育に何が必要か、そのために地域・家庭でできることは何か、改めて考えてもらう契機としました（参観日：11月12日(月)、会場：中根台中学校体育館、参観者：約100人）。</p> <p>(2) 子ども会育成連合会、青少年育成龍ヶ崎市民会議等の活動支援 「子ども会育成連合会」「青少年育成龍ヶ崎市民会議」「保護司会等更生保護団体」の各団体が相互に実施する事業に参加し、協力を行いました。 ・「わがまちクリーン大作戦」（平成24年6月・11月・平成25年3月） ・子ども会育成連合会チャレンジキャンプ（平成24年6月） ・社会を明るくする運動（平成24年7月） ・「あいさつ・声かけ運動」啓発活動（平成24年7月・11月） ・第46回市子ども会育成連合会球技大会（平成24年8月） ・第36回館林市・龍ヶ崎市子ども会親善野球大会（館林市）（平成24年9月） ・ふれあい広場2012（10月）</p>
成果・課題等	<p>地域・家庭・学校の三者が連携し、子どもたちのより良い教育環境の創出に繋がる事業に取り組みました。</p> <p>また、「子ども会育成連合会」、「青少年育成龍ヶ崎市民会議」、「保護司会等更生保護団体」の事業に相互の会員が参加・交流し、活動の理解を図りました。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 魅力ある学校づくり		
事業No	7	事業名	特色ある学校づくり
担当課	指導課		

実施状況	<p>各小中学校が特色ある教育活動を平成25年度から展開するため、「特色ある学校づくり」の仕組みを構築しました。</p> <p>「特色ある学校づくり」の主な取組事項としては、スポーツ選手や芸術家など「一流に触れる機会の拡充」のほか、地域の達人を講師に招いたり、地域の特色を活かした「体験活動の活動」などです。</p> <p>なお、特色ある学校づくりの仕組みの構築に関するスケジュールは、以下のとおりです。</p>	
	月	内容
	5月	先進的な取組をしている市町村（土浦市、日立市、阿見町）の事例調査しました。
	6月 9月	方法、4年間の計画、「特色ある学校づくり」と「子どもが主役！魅力ある学校づくり」の関係等を課内で協議しながら、特色ある学校づくり計画（案）を作成しました。
	10月	校長会で事業の説明及び協議を行い、4年間の計画の修正しました。
	1月	教育委員会で特色ある学校づくり計画（案）を協議しました。
	3月	特色ある学校づくり計画（案）をもとに特色ある学校づくり事業要項を作成し、教育委員会、校長会、教頭会の了承を得て、「特色ある学校づくり」が平成25年度から実施できる仕組みを構築しました。
	成果・課題等	<p>達成目標である「特色ある学校づくり」の仕組みを策定させた他、留意事項書も作成し、平成25年度からスムーズに実施できるようにしました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 魅力ある学校づくり		
事業No	8	事業名	子どもが主役！魅力ある学校づくり
担当課	指導課		

実施状況	<p>児童生徒の「生きる力」の育成のために、多様な活動が展開されています。事業内容は各学校毎によって異なりますが、「特色ある取組」「学力向上」「連携」を大切に、地域社会の教育力を有効活用しながら教育活動を展開することにより、地域と一体となった学校づくりが進められています。</p> <p>【具体的な取組の一例】</p>										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特色ある取組</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との交流活動（長寿会等） ○新聞を活用した教育活動 ○体育授業での水泳、ラグビー（流経大生の学習支援） ○農業体験（稲作、野菜作り） ○自然体験学習、天体観測等 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育（地域の職業人の活用、職場体験学習） ○地域ボランティア活動 ○体験活動の充実（茶道教室等） ○ライフスキル教育 ○性の健康教室、喫煙防止、情報モラル </td> </tr> <tr> <td>学力向上</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーの招聘（珠算、星を見る会等） ○自作教材・教具の作成 ○教職員研修の充実（一人一研究） ○講師を招聘した研究授業（他校へも参加の呼びかけ） ○オリジナル算数ドリルの作成 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○職員研修の充実（授業研究会の開催、先進校の研究会へ参加、講師招聘等） ○「家庭学習の手引き」の作成 ○英語インタラクティブフォーラムへの参加 ○学校独自に基礎的基本的な学習問題を作成 </td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	特色ある取組	<ul style="list-style-type: none"> ○地域との交流活動（長寿会等） ○新聞を活用した教育活動 ○体育授業での水泳、ラグビー（流経大生の学習支援） ○農業体験（稲作、野菜作り） ○自然体験学習、天体観測等 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育（地域の職業人の活用、職場体験学習） ○地域ボランティア活動 ○体験活動の充実（茶道教室等） ○ライフスキル教育 ○性の健康教室、喫煙防止、情報モラル 	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーの招聘（珠算、星を見る会等） ○自作教材・教具の作成 ○教職員研修の充実（一人一研究） ○講師を招聘した研究授業（他校へも参加の呼びかけ） ○オリジナル算数ドリルの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修の充実（授業研究会の開催、先進校の研究会へ参加、講師招聘等） ○「家庭学習の手引き」の作成 ○英語インタラクティブフォーラムへの参加 ○学校独自に基礎的基本的な学習問題を作成
		小学校	中学校								
特色ある取組	<ul style="list-style-type: none"> ○地域との交流活動（長寿会等） ○新聞を活用した教育活動 ○体育授業での水泳、ラグビー（流経大生の学習支援） ○農業体験（稲作、野菜作り） ○自然体験学習、天体観測等 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育（地域の職業人の活用、職場体験学習） ○地域ボランティア活動 ○体験活動の充実（茶道教室等） ○ライフスキル教育 ○性の健康教室、喫煙防止、情報モラル 									
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーの招聘（珠算、星を見る会等） ○自作教材・教具の作成 ○教職員研修の充実（一人一研究） ○講師を招聘した研究授業（他校へも参加の呼びかけ） ○オリジナル算数ドリルの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修の充実（授業研究会の開催、先進校の研究会へ参加、講師招聘等） ○「家庭学習の手引き」の作成 ○英語インタラクティブフォーラムへの参加 ○学校独自に基礎的基本的な学習問題を作成 									
連携	<p>小小連携 ○ときめきネットワーク（小規模校4校連携）による交流活動の実施</p> <p>小中連携 ○愛宕中学区…いじめ・いやがらせ撲滅キャンペーン、クリーン作戦等 ○城南中学区…中学生による母校（小学校）訪問 ○長山中学区…中1ギャップ解消に向けた生徒指導連携、あいさつ運動等 ○城西中学区…マナーアップ運動、相互授業参観、クリーンアップ作戦等 ○中根台中学区…あいさつ運動、吹奏楽部による交流演奏会等 ○城ノ内中学区…小中連携あいさつ運動、小中連携協議会の開催</p> <p>中中連携 ○たつの子サミット2012（平成24年11月12日）6中学校の生徒会役員が会し、実践発表や「今、私たちにできること」をテーマに意見交換を実施。</p>										
成果・課題等	<p>ゲストティーチャーを招聘することで、豊かな学習活動を展開することができました。また、ゲストティーチャーの専門性にふれる機会を通して、児童生徒の学習に対する関心意欲の高揚につながっています。学校においては、ゲストティーチャーとの打合せ時間の確保や調整に課題があります。ゲストティーチャーのコーディネイト役の担当教諭をいちづけるなどしながら対応しております。</p>										

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 魅力ある学校づくり		
事業 No	9	事業名	学校情報の積極的な発信
担当課	指導課		

実施状況	<p>(1) ホームページによる各学校の情報を発信 各学校のホームページに学校経営などを分かりやすくまとめた「学校グランド デザイン」を統一して掲載しました。 また、学校のホームページ上に学校行事などをはじめ学校の今を伝えるコーナーを設置し、積極的に情報を発信しています。</p> <p>(2) 学校・学年・学級だより 市内全小中学校で、学校だよりを毎月発行しています。学校評価の結果を取り上げ、保護者と協力して取り組むことを明確にしています。 また、地域にも回覧し、地域の方々にも学校の様子を伝えるように努めています。</p> <p>(3) 授業参観・懇談会 授業参観では、各教科、道徳、特別活動等を偏りなく公開しています。 また、授業内容も、学校の様子が少しでも理解頂けるよう工夫しております。 学級・学年懇談会は保護者と担任が教育方針について相互理解を図る重要な場です。 11月の龍ヶ崎教育の日では、各小中学校で自由参観日を設定し、保護者、地域の方へ学習の様子を参観して頂きました。</p> <p>(4) 学校関係者評価委員会 保護者、学校評議員に地域住民や青少年健全育成会関係団体の関係者、同一中学校区内の学校などによる評価委員会にも全校で取り組んでいます。</p>
成果・課題等	<p>各小中学校におけるホームページの定期的な更新が課題でありましたが、市が開催するホームページの作成や更新に関する研修会に参加し、担当者のスキルアップにつながり学校の今を伝えるコーナー等を設置するなど、日々更新する学校が増えています。</p> <p>一方、11月の龍ヶ崎教育の日における自由参観日には小学校中学校を合わせて約3,726人（平成23年度比961人の増）の保護者、地域の方に参観頂きました。保護者、学校、地域で教育について考える機会となりました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 魅力ある学校づくり		
事業 No	10	事業名	地域との交流事業の実施
担当課	指導課		

実施状況	<p>総合的な学習の時間や各教科などで、目標や内容を明確にし、地域や学校、児童生徒の実態などから必要に応じて外部人材（地域人材）を招聘し、学習成果が高まるよう指導の工夫、改善に努めています。また、龍・流連携については、学習支援や生活支援など各小中学校の要望に応じて企画課を通して流通経済大学に依頼し、実施しています。</p> <p>一方、体育の授業などでは、龍・流連携を通して大学生の専門性を活かした支援などを頂き、学習内容も広がりが見られ、学習効果を高めることもできました。また、小学校1, 2年生の生活科等では、長寿会の方々から昔の遊びを教えて頂く等の交流を通して、子どもたちは教科書では学べない貴重な体験を行うことができました。</p> <p>(1) 具体的な招聘事例（学生ボランティア、地域人材や団体、各関係機関等から）</p> <p>① 教科 読み聞かせ（国語）、金管楽器、打楽器指導、合唱指導（音楽）、エネルギー講座（社会・理科）、町探検（生活）、陸上競技指導、サッカー指導、タグラグビー、水泳、器械体操などの学習支援（体育・保健体育）等</p> <p>② 総合的な学習の時間 国際理解教育（国際交流）、英語活動、米、落花生、トマト作り、湖沼観察、福祉体験、野鳥観察、自然保護、パソコン指導 等</p> <p>③ 特別活動 不審者対応、飲酒・喫煙・薬物乱用防止、職場体験協力、キャリア教育、安全教育 等</p> <p>④ 部活動・その他 登下校の安全、茶道体験、外国人への日本語指導、外遊び、部活動指導</p> <p>(2) 国や県の事業に応募・決定し実施できた事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものための優れた舞台芸術体験事業 長山小学校（ミュージカル鑑賞 平成24年10月19日） 川原代小学校（児童劇 平成24年12月11日） ・芸術家巡回派遣 馴馬台小学校（地域の日本舞踊家 平成24年11月14日）
成果・課題等	<p>龍・流連携事業では、年度初めに教務主任会で活用例などを紹介し、より有効活用に向けた話し合いの機会を設定しました。</p> <p>地域の人材活用については、打ち合わせ時間の確保など課題があります。各学校では、コーディネーター的な役割の教員を校務分掌に位置づけ、スムーズな連携ができるよう体制づくりに努めています。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 相談・支援体制の充実		
事業No	11	事業名	教育支援体制の充実
担当課	教育センター		

実施状況	<p>(1) 教育支援体制システムの周知 「りゅうほー」で本システムを市民に周知するとともに、各コミュニティーセンターや文化会館、中央図書館などの施設に本システムのポスターを掲示しました。また、市学校長会及び市教頭会で説明・周知するとともに、各学校を通じて全家庭にリーフレットを配布しました。</p> <p>(2) 教育支援体制システムの展開（相談実績）</p> <p>① 教育相談 教育相談員8名を配置し、それぞれの専門性を生かした相談活動を実施しました。教育相談員の相談回数は下表のとおりです。また、学校教育相談員1名を配置し、学校運営や教職員への相談活動を展開しました。その学校教育相談員による相談回数は42回(12件)でした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来所相談</th> <th>家庭訪問</th> <th>学校訪問</th> <th>電話相談</th> <th>その他</th> <th>適応指導</th> <th>合計(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校</td> <td>991</td> <td>45</td> <td>118</td> <td>409</td> <td>4</td> <td>643</td> <td>2,210</td> </tr> <tr> <td>集団不適応</td> <td>113</td> <td>0</td> <td>81</td> <td>50</td> <td>0</td> <td></td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>対人・行動</td> <td>122</td> <td>19</td> <td>3</td> <td>290</td> <td>2</td> <td></td> <td>436</td> </tr> <tr> <td>いじめ</td> <td>21</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>0</td> <td></td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>232</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>95</td> <td>10</td> <td></td> <td>344</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1,479</td> <td>64</td> <td>216</td> <td>858</td> <td>16</td> <td>643</td> <td>3,276</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育</td> <td>104</td> <td>0</td> <td>99</td> <td>60</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>就学相談</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>90</td> <td>104</td> <td>7</td> <td></td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>147</td> <td>0</td> <td>189</td> <td>164</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>510</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,626</td> <td>64</td> <td>405</td> <td>1,022</td> <td>26</td> <td>643</td> <td>3,786</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 適応指導教室（夢ひろば） 通級生9名のうち4名が学校に完全復帰し、4名が部分登校しています。</p> <p>③ スクールカウンセラー、さわやかボランティア相談員・さわやか相談員 「スクールカウンセラー配置事業」により、『愛宕中・城西中・馴染小』、『城南中・城ノ内中』、『中根台中・長山中』に3名のスクールカウンセラーを配置し、専門性を生かした相談活動や教職員とのコンサルテーションを実施しました（年間243時間）。 また、「さわやかボランティア相談員」として、15名の方々を市内全小学校に配置し、相談活動やふれ合い活動を通して、子どもたちの不安や悩みを軽減することができました。さらに、市内全中学校に「さわやか相談員」を派遣し、年間800時間の相談活動を通して、不安や悩みの早期解消やよりよい人間関係づくりに取り組むことができました。さわやか相談員の相談件数・回数については、「友人に関すること」278件・405回、「学習相談に関すること」237件・402回、「不登校に関すること」213件・662回となり、その他の相談・適応指導を含めると年間で合計2,327件・4,634回となりました。</p> <p>④ 龍の子支援会議 各課がもっている情報を交換・共有するための会議を毎月開催し、よりよい支援の在り方を検討しながら連携して相談・支援にあたりました。</p>		来所相談	家庭訪問	学校訪問	電話相談	その他	適応指導	合計(回)	不登校	991	45	118	409	4	643	2,210	集団不適応	113	0	81	50	0		244	対人・行動	122	19	3	290	2		436	いじめ	21	0	7	14	0		42	その他	232	0	7	95	10		344	小計	1,479	64	216	858	16	643	3,276	特別支援教育	104	0	99	60	3	0	266	就学相談	43	0	90	104	7		244	小計	147	0	189	164	10	0	510	合計	1,626	64	405	1,022	26	643	3,786
		来所相談	家庭訪問	学校訪問	電話相談	その他	適応指導	合計(回)																																																																																	
不登校	991	45	118	409	4	643	2,210																																																																																		
集団不適応	113	0	81	50	0		244																																																																																		
対人・行動	122	19	3	290	2		436																																																																																		
いじめ	21	0	7	14	0		42																																																																																		
その他	232	0	7	95	10		344																																																																																		
小計	1,479	64	216	858	16	643	3,276																																																																																		
特別支援教育	104	0	99	60	3	0	266																																																																																		
就学相談	43	0	90	104	7		244																																																																																		
小計	147	0	189	164	10	0	510																																																																																		
合計	1,626	64	405	1,022	26	643	3,786																																																																																		
成果・課題等	<p>龍の子支援会議やサポート会議などを通して、不登校やいじめ問題、児童虐待などの事案に対応・支援することができました。不登校率については、依然高い状況にあるので、教育相談や訪問相談など継続的な支援にあたる必要があります。</p>																																																																																								

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 相談・支援体制の充実		
事業No	12	事業名	就学援助費の支給
担当課	学務課		

実施状況	<p>龍ヶ崎市立小学校及び中学校に通学する児童生徒の学用品費や給食費など学校生活に必要な費用について、経済的な理由で支払うことが困難な保護者に対し、それらの費用の一部を援助する就学援助を実施しました。</p> <p>市広報紙や市公式ホームページを通して、制度の周知に努めました。また、進級時に学校においても、全児童生徒の保護者宛に通知を配布しました。</p> <p>就学援助の支給内容は、学用品費、体育実技用具費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、PTA会費、医療費です。金額については、下表のとおりです。</p> <p>就学援助費は原則7月・12月・3月の年3回各学期末に、各小中学校を通して保護者に支給しています。</p> <p>【就学援助費支給内容】</p>																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">援助経費項目</th> <th colspan="2">援助額</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>11,100円</td> <td>21,700円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通学用品費</td> <td>2,170円</td> <td>2,170円</td> <td>第2学年以上</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊なし)</td> <td>実費 (上限1,510円)</td> <td>実費 (上限2,180円)</td> <td>参加した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊あり)</td> <td>実費 (上限3,470円)</td> <td>実費 (上限5,840円)</td> <td>参加した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td></td> <td>実費 柔道(上限7,300円) 剣道(上限50,500円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学児童生徒学用品費</td> <td>19,900円</td> <td>22,900円</td> <td>第1学年のみ</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>実費</td> <td>実費</td> <td>参加した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>46,200円</td> <td>50,600円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PTA会費</td> <td>実費の2分の1</td> <td>実費の2分の1</td> <td>負担した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>実費</td> <td>実費</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		援助経費項目	援助額		備考	小学校	中学校	学用品費	11,100円	21,700円		通学用品費	2,170円	2,170円	第2学年以上	校外活動費(宿泊なし)	実費 (上限1,510円)	実費 (上限2,180円)	参加した場合に限る	校外活動費(宿泊あり)	実費 (上限3,470円)	実費 (上限5,840円)	参加した場合に限る	体育実技用具費		実費 柔道(上限7,300円) 剣道(上限50,500円)		新入学児童生徒学用品費	19,900円	22,900円	第1学年のみ	修学旅行費	実費	実費	参加した場合に限る	学校給食費	46,200円	50,600円		PTA会費	実費の2分の1	実費の2分の1	負担した場合に限る	医療費	実費	実費		
	援助経費項目	援助額		備考																																													
		小学校	中学校																																														
	学用品費	11,100円	21,700円																																														
	通学用品費	2,170円	2,170円	第2学年以上																																													
	校外活動費(宿泊なし)	実費 (上限1,510円)	実費 (上限2,180円)	参加した場合に限る																																													
	校外活動費(宿泊あり)	実費 (上限3,470円)	実費 (上限5,840円)	参加した場合に限る																																													
	体育実技用具費		実費 柔道(上限7,300円) 剣道(上限50,500円)																																														
	新入学児童生徒学用品費	19,900円	22,900円	第1学年のみ																																													
	修学旅行費	実費	実費	参加した場合に限る																																													
	学校給食費	46,200円	50,600円																																														
PTA会費	実費の2分の1	実費の2分の1	負担した場合に限る																																														
医療費	実費	実費																																															
※要保護(生活保護)者は、修学旅行費と医療費のみ援助の対象となります。																																																	
成果・課題等	<p>平成24年度は715人(小学校434人、中学校281人)に、学用品費、学校給食費等で55,519,391円の援助を行い、保護者の経済的な負担を軽減することができました。</p> <p>就学援助認定者の全児童生徒(小学校4,438人、中学校2,362人、計6,800人)に占める割合は、10.5%でした。</p> <p>今後も適切な審査・認定を行い、支援を必要としている保護者に対して援助ができるよう努めます。</p>																																																

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 相談・支援体制の充実		
事業No	13	事業名	相談（支援教育・就学）体制の充実
担当課	指導課・教育センター		

実施状況	<p>障がいのある就学児に対し、各課と連携をしたり、就学前に保護者及び学校との打ち合わせ等を入念に行ったり支援体制の整備を行っています。入学後においても支援を継続し、学校生活における支援の方法等の話し合いを随時行っています。</p> <p>また、平成24年5月22日（火）には、障がいがある幼児、児童及び生徒をもつ保護者を対象に「就学説明会」を開催し、相談を開始しました。</p> <p>このほか、市内小中学校の児童生徒の支援についても学校と連携を図りながら行いました。</p> <p>(1) 就学相談の実施</p> <p>就学相談は、教育委員会指導課と教育センター及び保健センター、こども課、つぼみ園を窓口として実施しています。5月に行われた、就学相談説明会後に就学相談の相談業務が本格化し、指導課と教育センター等関係各課で連携、相談内容の共有化を図り、面談を継続しています。</p> <p>また、保護者との相談と共に、就学予定者（幼児）との面会を通して、就学についての理解を深めるよう心がけました。</p> <p>（※具体的な相談件数等については公表しません。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年9月13日（木）障がい児就学指導調査員会 ・平成24年11月8日（木）障がい児就学指導委員会 <p>(2) 就学時健康診断への同行</p> <p>就学時健康診断を、平成24年10月4日（木）から平成24年11月16日（金）にかけて市内小学校13校で実施し、指導課指導主事、教育センター教育相談員、学務課担当職員が同行し、入学後、支援が必要なお子さんや保護者との面談等を行いました。</p> <p>(3) 就学先の決定</p> <p>就学相談を充実させ、保護者や児童生徒の願いを十分にくみ取り、各種学校とも連携を図りました。その結果、児童生徒にとってよりよい就学先である、県立の特別支援学校、市内小中学校の特別支援学級等に入学、措置変更、入級することができました。</p>
成果・課題等	<p>就学相談を、教育委員会指導課と教育センター、各関係機関等を窓口とし、保護者と学校との面談を充実させることができました。また、特別支援学校とも連携を図り、特別支援学校、小中学校の特別支援学級、通常学級の見学・相談を通して、よりよい就学先を決定することができました。</p> <p>児童生徒が自立に向かって、小中学校入学後も各校の就学指導調査員や特別支援教育コーディネーターからの報告を確認、共有しながら、よりよい学校、学級生活が送れるよう保護者、学校とともに考えていくよう心がけます。</p> <p>障がい児の支援については、専門的な知識や技能をもつ教育相談員を各校に訪問させ、支援の在り方・関わり等についてのサポート会議を開き、助言・指導を行っていきます。就学相談の機関等の周知などにも課題があるので関係各課に協力を依頼し、各種情報の提供も行います。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 相談・支援体制の充実		
事業No	14	事業名	特別支援教育の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>障がいのある児童生徒の支援のあり方、通常学級に所属しながらも支援を必要としている児童生徒の実態に即した指導計画や指導方法の改善を図り、個に応じた支援を推進し、自立と社会参加を目指しています。校内就学指導委員会では、特別な支援を必要とする児童生徒の実態把握に努め、多様な配慮やきめ細かな教育となるようにしています。</p> <p>また、学校長の指名した特別支援教育コーディネーターが中心となり校内の支援体制を整えたり、特別支援教育への理解促進に努めています。</p> <p>(1) 各学校での取組</p> <p>① 校内就学指導委員会 年間2回以上の校内就学指導委員会を通して、特別な支援の必要な児童生徒について共通理解を図っています。必要に応じて保護者との面談を実施し、保護者の思いを受け止め支援の在り方について共に考えています。</p> <p>② 校内研修 特別支援コーディネーター等が各種研修会に参加し、各校にて支援の仕方など内容の伝達を行い、特別支援教育や障がいについての最新情報の共有化を図っています。 また、事例研修を通して、特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の指導計画・指導体制の確立を図っています。</p> <p>(2) 指導課としての取組</p> <p>定期的に学校と支援者間で児童の実態把握と支援の在り方・関わり方等をサポート会議で確認することで、円滑な連携が図れるようにしています。各小中学校から1名の障がい児就学指導調査員を委嘱し、各校児童生徒の実態を聞き取るとともに、平成24年9月13日(木)障がい児就学指導調査員会を開催し、各中学校区ごとに情報交換を行っています。このため、様々な情報を共有化することで支援に役立てています。</p> <p>また、平成24年11月8日(木)障がい児就学指導委員会を開催し、市内における特別な支援が必要な児童生徒の把握と、就学相談等の情報から、適切な就学について判断ができるようにしています。就学指導委員は、文教委員、医師、教員、相談員等で構成され、教育的、心理学的及び医学的な観点から総合的に助言をいただいています。</p>
成果・課題等	<p>各小学校の特別支援学級担当者と保護者、特別支援教育支援員が児童の支援で連携を図り、個に応じた支援をすることで個々の成長を見取ることができました。市内31人の児童に対して特別支援教育支援員を19人配置し、安全安心な学校生活を円滑に送ることができました。</p> <p>さらに、自立と社会参加を目指すための支援の在り方について、個別の指導計画を定期的に確認しながら、児童の障がいの程度に応じて、一人一人のニーズに合わせた関わり方の見直しをしていく必要があります。介助・支援の在り方についても、保護者を交えた教育相談やサポート会議などの活用を図りながら保護者や学校の理解啓発に努めます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(4) 情報教育・支援体制の充実		
事業No	15	事業名	I C T (情報通信技術) 教育の推進
担当課	指導課		

実施状況	<p>基本的な操作の習得を図りながら、情報モラルやセキュリティを理解した上で情報を活用する能力を育みました。</p> <p>各校では、総合的な学習の時間を中心に各教科等で児童生徒の情報モラル、情報スキル学習を年間指導計画に位置付けて計画的に行いました。</p> <p>また、外部講師を招聘して生徒及び保護者を対象に「携帯電話の使い方」や「情報モラルについての学習会」を開催し啓発に努めました。</p> <p>○ I C T機器の活用が多い主な授業 * () 内は、その教科を答えた学校の割合 ・ 小学校：総合的な学習の時間 (100%)，理科 (92.3%)，社会・国語 (84.6%) ・ 中学校：総合的な学習の時間，技術・家庭 (100%)，数学，理科 (83.3%) (平成24年度教育課程実施状況調査より)</p>
成果・課題等	<p>発達段階を考慮し、また、家庭との連携を図りながら情報モラルなどの啓発を図っていくことが大切です。</p> <p>また、体験的な学習になるよう学習教材の工夫に努めます。</p> <p>このほか、情報モラルの指導に関しては、関係機関からゲストティーチャーを招聘したりするなど効果的な学習を推進します。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(4) 情報教育・支援体制の充実		
事業No	16	事業名	外国語活動・外国語教育の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>平成24年度は、4月に業務委託による英語指導助手6人（6つの中学校区毎に1名ずつ）を市内小中学校に配置しました。平成24年4月4日に英語指導助手配置説明会を実施し、教頭、外国語・外国語活動担当教員が参加し、本事業の適正、かつ有効活用に向けた研修会を実施しました。</p> <p>(1) AETを活用した英語活動、英語教育の充実</p> <p>① 小学校における英語活動 小学校の規模に応じてAETを配置しました。外国語活動(小学校5・6年)や総合的な学習の時間の国際理解教育の一環として英語活動を位置付け、ネイティブスピーカーとしてのAETを生かし、生の英語にふれる活動を通して、異文化の理解やコミュニケーション能力の育成を図っています。 AETの各学級への配置は、小学校5・6年生は「外国語活動」で年間35時間(週1時間)、3・4年生は総合的な学習の時間として年間10時間、小学校1・2年生は年間3時間配置しました。 平成24年7月23日に「外国語活動指導法研修会」を実施し、AETの効果的な活用及び外国語副教材「Hi! friends」の使用事例について研修会を実施しました。</p> <p>② 中学校における英語教育 年間を通して全ての中学校にAETが配置(各学級週1時間以上)されたことにより、授業の充実ばかりでなく、生徒とのふれあいの中で国際理解が深められるよう指導しています。</p> <p>(2) 英語教育スーパーバイザー 授業参観や協議を通して指導法の改善や英語指導助手の活用について具体的に指導をいただいています。平成24年度は6校の小中学校訪問(計画訪問時)を実施し、授業参観と研究協議を通して各校の課題解決に向けて指導、助言をいただきました。</p>
成果・課題等	<p>AETとの生きた英語での活動を通して、言葉や文化の違いに気づき、意欲的にコミュニケーションを図る態度が育ってきています。 児童生徒の意識調査では、「AETとの学習が楽しい」「どちらかというと楽しい」と答えた小学生が90.3%（平成23年度：96.8%）、中学生が72.8%（平成23年度：74.7%）でした。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 教育施設・設備の充実		
事業No	17	事業名	学校施設の整備
担当課	学務課		

実施状況	<p>児童生徒の充実した学習環境づくりに努めるため、学校施設の整備及び老朽箇所の改修改善を図っています。</p> <p>なお、平成24年度の主な整備及び改修事業は以下のとおりです。</p> <p>(1) 小学校施設 龍ヶ崎西小学校及び川原代小学校遊具改修工事 八原小学校屋上改修工事 城ノ内小学校教室改修工事 長山小学校及び大宮小学校床張替工事 龍ヶ崎西小学校高圧気中開閉器交換工事</p> <p>(2) 中学校施設 中根台中学校床張替工事 城ノ内中学校防球ネット設置工事</p>
成果・課題等	<p>老朽箇所の改修や設備の更新を計画的に実施した結果、児童生徒の学習環境の維持及び向上を図ることができました。</p> <p>今後も「主要施策アクションプラン」に沿って、継続的に施設の改修に努めてまいります。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学校給食の充実		
事業No	18	事業名	医療費と給食費の負担軽減
担当課	学校給食センター・保険年金課		

実施状況	<p>子育て世代の経済的支援を図るため、3人以上のお子さんが同時に市立小中学校に就学した場合の3人目以降の給食費負担金を無償化に向け、条例改正などを行いました。</p> <p>[給食費の負担軽減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月 龍ヶ崎市学校給食センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正 ・ 2月 教育委員会定例会での条例施行規則の承認 学校給食センター運営委員に事業内容の説明 ・ 3月 学校事務職員に事業の事前説明及び依頼 学校長へ事業の依頼文発送 <p>(参考：保険年金課の取組)</p> <p>[小児マルフク拡大]</p> <p>(1) 依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 龍ヶ崎市・牛久市医師会長，龍ヶ崎市歯科医師会長，茨城県薬剤師会龍ヶ崎班長への訪問協力依頼 ・ 茨城県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金茨城支部へ訪問，打合せ ・ 茨城県医師会，茨城歯科医師会，茨城県薬剤師会へ協力依頼 <p>(2) 周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例記者会見にて情報提供(朝日新聞，毎日新聞他掲載) ・ 対象児童生徒の全保護者宛に個別勧奨の通知配布 ・ 市ホームページに記事掲載，トップページにバナー配置 ・ りゅうほー，ツイッター，フェイスブックに記事掲載 ・ 市政情報モニター配信，市メール配信サービスにてメール配信 ・ 市内医療機関にポスター送付及びりゅうほー以外に各種メディアを活用することにより，効果的に周知を図ることができた。
成果・課題等	<p>給食費負担金の無償化には，毎年度初めに減免申請が必要となることから，児童生徒の保護者及び各小中学校教職員等へ本事業の周知の必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学校給食の充実		
事業No	19	事業名	学校給食センターの管理運営
担当課	学校給食センター		

実施状況	(1) 学校給食センターの管理運営																	
	① 年間給食日数																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>給食日数(日)</th> <th>年間給食数(食)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 13校</td> <td>195</td> <td>905,668</td> </tr> <tr> <td>中学校 6校</td> <td>195</td> <td>470,820</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>195</td> <td>1,376,480</td> </tr> </tbody> </table>	区分	給食日数(日)	年間給食数(食)	小学校 13校	195	905,668	中学校 6校	195	470,820	計	195	1,376,480					
	区分	給食日数(日)	年間給食数(食)															
	小学校 13校	195	905,668															
	中学校 6校	195	470,820															
	計	195	1,376,480															
	② 消耗品購入																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>購入日</th> <th>購入費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食器 深皿(カレー皿)更新(7,500枚)</td> <td>H24.10.1</td> <td>10,615,500</td> </tr> </tbody> </table>	名称	購入日	購入費(円)	食器 深皿(カレー皿)更新(7,500枚)	H24.10.1	10,615,500											
	名称	購入日	購入費(円)															
食器 深皿(カレー皿)更新(7,500枚)	H24.10.1	10,615,500																
③ 備品購入																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>備品名称</th> <th>購入日</th> <th>購入費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドライ式運搬車</td> <td>H24.8.24</td> <td>264,600</td> </tr> <tr> <td>コンテナ</td> <td>H24.8.24</td> <td>399,000</td> </tr> <tr> <td>台秤</td> <td>H24.10.30</td> <td>99,750</td> </tr> <tr> <td>洗濯機</td> <td>H25.2.13</td> <td>56,745</td> </tr> <tr> <td>L型運搬車(2台)</td> <td>H25.3.6</td> <td>99,750</td> </tr> </tbody> </table>	備品名称	購入日	購入費(円)	ドライ式運搬車	H24.8.24	264,600	コンテナ	H24.8.24	399,000	台秤	H24.10.30	99,750	洗濯機	H25.2.13	56,745	L型運搬車(2台)	H25.3.6	99,750
備品名称	購入日	購入費(円)																
ドライ式運搬車	H24.8.24	264,600																
コンテナ	H24.8.24	399,000																
台秤	H24.10.30	99,750																
洗濯機	H25.2.13	56,745																
L型運搬車(2台)	H25.3.6	99,750																
(2) 学校給食センター運営委員会																		
<p>学校給食センターの円滑適正なる運営を図るため、学校給食センター運営協議会を開催しました。運営協議会の主な内容は次のとおりです。</p> <p>① 日 時 平成24年10月2日(火)</p> <p>② 主な内容 ・学校給食の食物アレルギー対応について ・学校給食食材の放射能測定について</p> <p>③ 協議結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーへの対応として、各小中学校に食物アレルギー用材料表を配布し、アレルギー原因食品の情報をより細やかに提示することとしました。 ・放射能測定については、給食専用の放射能測定器を設置し、その結果は市公式ホームページ及び各児童生徒に配布の献立表に掲載し、効果的に市民への情報提供を行うこととしました。 																		
成果・課題等	<p>安心・安全な給食を配給する基礎となる、施設運営における厨房設備の維持管理や備品等の更新が必要です。</p> <p>また、食物アレルギーについては、各小中学校及び保護者との連携を密にしての対策が重要です。</p>																	

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学校給食の充実		
事業No	20	事業名	小中学校における食育学習の推進
担当課	指導課・学校給食センター		

実施状況	<p>バランスよく栄養摂取できる美味しい学校給食の提供により，児童生徒の健康増進と体力の向上を図りました。また，栄養教諭や栄養士，養護教諭によるそれぞれの専門性を活かしながら食に関する指導を実施しました。</p> <p>一方，小中学校においては，食育推進計画に基づいて食育の学習を進めました。年間を通して，計画的に栄養教諭，学校栄養職員が学校訪問を行い，給食の配膳や食物の摂取状況を把握し，紙芝居など取り入れながら食に関する指導なども実施しました。</p> <p>〈朝ご飯を食べている市内の児童生徒の割合〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学6年生</td> <td>95.2%</td> <td>96.5%</td> <td>97.5%</td> <td>96.8%</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td>92.3%</td> <td>94.1%</td> <td>94.5%</td> <td>90.9%</td> <td>93.6%</td> </tr> </tbody> </table>	学年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	小学6年生	95.2%	96.5%	97.5%	96.8%	96.6%	中学3年生	92.3%	94.1%	94.5%	90.9%	93.6%
	学年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度													
小学6年生	95.2%	96.5%	97.5%	96.8%	96.6%														
中学3年生	92.3%	94.1%	94.5%	90.9%	93.6%														
成果・課題等	<p>① 小学校における取組</p> <p>小学校は，13校（全校）の2年生のクラスを，給食時間を利用し，栄養士が学校給食センター調理員とともに訪問しました。今回は，「給食ができるまで」を写真を使って，児童にわかりやすく，クイズ形式を取り入れ楽しく説明しました。</p> <p>また，栄養士と同行した学校給食センター調理員の実際の服装を見せたり，調理を行う際の消毒の仕方などの衛生面の話をする事で，さらに，児童の給食への安心安全感が深まりました。</p> <p>② 中学校における取組</p> <p>中学校は，6校中5校の1年生の1クラスを，給食の時間を利用し，栄養士が訪問し，栄養バランスのとれた食事への意識を高める指導を行いました。</p> <p>給食の献立を例にし，「主食・主菜・副菜」という食事の形態と栄養グラフを用いて，「主食・主菜・副菜」をそろえてとる事の大切さを説明しました。</p> <p>③ 教育の日推進事業における取組</p> <p>教育の日の事業として，「親子で作る給食献立」コンテストを実施しました。市内の小・中学校の児童・生徒を持つ親子を対象に，子どもたちが苦手なお魚を使った料理という内容で献立募集を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募作品：130点 ・審査結果：入賞作品 10点 最優秀賞 「酔ぶり」，優秀賞 2，特別賞 6 <p>※入賞作品は，後日，実際に給食として提供しました。</p> <p>平成24年度の朝食の摂取状況は，小学校で96.6%，中学校93.6%となりました。特に，中学校においては，平成23年度（90.9%）より約3%アップしました。今後とも，朝ご飯の摂取状況や食育に関する情報など保護者に周知し，学校と家庭が連携しながら食育指導の推進に努めていきます。さらに，体験的な学習を通して，食育に対して児童生徒の実感が伴った理解に努めます。</p> <p>また，栄養士が直接学校を訪問し，児童・生徒と接することにより，児童・生徒の給食時の状況把握ができました。また，直接，児童・生徒から意見を聞くことで，今後の献立作りの参考となり，小学校5年生で実施した「給食を残さず食べた児童の割合」の増加にもつながりました。今後は，さらに「給食を残さず食べる児童の割合」を上げるためにも，毎日の残さい量をチェックしながら，児童・生徒においしく食べてもらうような献立作りを行います。</p>																		

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学校給食の充実		
事業 No	21	事業名	新たな運営方法の導入
担当課	学校給食センター		

実施状況	<p>小中学校の給食の調理業務は、第一調理場及び第二調理場の2箇所で運営しています。第一調理場では全小学校13校分(約4,700食)の調理業務を行い、第二調理場では中学校6校分(約2,500食)の調理業務を行っています。</p> <p>今後、施設の老朽化や少子化の進行が予測されるため、平成24年度に今後の効率的な運営方法について検討しました。</p> <p>なお、検討の概要などについては、以下のとおりです。</p> <p>《現状》</p> <p>第一調理場は昭和59年度に建築し、約30年が経過していることから老朽化が進行しています。第二調理場は平成11年度に使用開始してから13年程度の経過になりますが、厨房設備は第一調理場より老朽化が進行しています。新たな給食センターの建設及び建設用地を確保する場合は、多額の予算が必要となります。</p> <p>また、平成19年度から調理業務や配送業務等を民間委託し、効率を上げているものの、さらなる効率化を図るため、新たな手法についても検討する必要があります。</p> <p>《検討の概要》</p> <p>老朽化が進んでいる厨房設備の改修を行いながら、第一調理場と第二調理場の2箇所で調理業務を行う形態を基本としつつ、以下の案について検討しました。</p> <p>◎第1案 第一調理場に調理業務を統合する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物全体を新築する必要性が大。⇒全体が老朽化しており、事実上の建て替えとなるため多額の予算を要する。 ・新築している間、現状の第二調理場のみで業務が不可能。⇒厨房設備の老朽化及び調理場面積の不足。 <p>◎第2案 第二調理場に調理業務を統合する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の調理場が第一調理場に比べ新しいことから、増築による対応が可能。 ・施設面積不足のため増築が必要。増築に伴う敷地不足のため隣接地での用地確保が必要。 ・厨房設備の老朽化が進行しており、調理量の増加も考慮すると、大半の厨房設備の交換が必要。 <p>◎第3案 新たに給食センターを整備する(他に比して多額の予算が必要となるため、PFI事業での整備も視野に入れて検討することとした)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府が進める公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法であり、今後の給食業務の運営の手法として有効であるか調査研究を行う(平成25年度以降)。
成果・課題等	<p>平成25年度以降も引き続き調査・研究を行うこととしますが、老朽化が進行するため早期に学校給食センターの新たな運営手法をとりまとめる必要があります。</p> <p>併せて、児童生徒数の推移を勘案し、給食食数及び施設規模の見直し等も必要です。</p> <p>このほか、PFI事業の手法については、実施事例の視察調査を行い、その有効性についての検討を行う必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(7) 安全な学校・地域づくりの推進		
事業No	22	事業名	通学路の安全確保
担当課	学務課		

実施状況	<p>各小学校からよせられた通学路の安全情報等に基づき、児童生徒の通学路の安全を確保するために、4月1日から6月31日までに通学路において注意が必要な箇所の調査を実施しました。</p> <p>竜ヶ崎警察署、竜ヶ崎工事事務所、危機管理室、施設整備課、学校及び学務課が連携し、7月1日から8月24日にかけて、県道24箇所、市道44箇所、計68箇所について「通学路の緊急合同点検」を実施しました。</p> <p>注意が必要な箇所の点検については、通学状況や信号・速度規制等の必要性、歩道や標識、ガードレールの設置状況、ボランティアによる交通誘導の状況など、様々な観点から安全点検を実施し、通学路の安全に課題のある箇所を把握し、対策を検討しました。</p> <p>点検の結果に基づき、信号機、歩道、路面表示、立て看板の設置やボランティアによる見守り等の対策を講じました。</p>																																												
	<p>学校区別点検箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>調査箇所</th> <th>改善箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>龍ヶ崎小学校</td> <td>4箇所</td> <td>4箇所</td> </tr> <tr> <td>大宮小学校</td> <td>12箇所</td> <td>11箇所</td> </tr> <tr> <td>長戸小学校</td> <td>8箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>八原小学校</td> <td>3箇所</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>馴柴小学校</td> <td>7箇所</td> <td>5箇所</td> </tr> <tr> <td>川原代小学校</td> <td>4箇所</td> <td>4箇所</td> </tr> <tr> <td>北文間小学校</td> <td>2箇所</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>龍ヶ崎西小学校</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> </tr> <tr> <td>松葉小学校</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>長山小学校</td> <td>2箇所</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>馴馬台小学校</td> <td>8箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>久保台小学校</td> <td>1箇所</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>城ノ内小学校</td> <td>10箇所</td> <td>10箇所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68箇所</td> <td>61箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>※残り7箇所については、改良に向け現在、協議中です。</p>	小学校名	調査箇所	改善箇所	龍ヶ崎小学校	4箇所	4箇所	大宮小学校	12箇所	11箇所	長戸小学校	8箇所	7箇所	八原小学校	3箇所	1箇所	馴柴小学校	7箇所	5箇所	川原代小学校	4箇所	4箇所	北文間小学校	2箇所	2箇所	龍ヶ崎西小学校	6箇所	6箇所	松葉小学校	1箇所	1箇所	長山小学校	2箇所	2箇所	馴馬台小学校	8箇所	7箇所	久保台小学校	1箇所	1箇所	城ノ内小学校	10箇所	10箇所	合計	68箇所
小学校名	調査箇所	改善箇所																																											
龍ヶ崎小学校	4箇所	4箇所																																											
大宮小学校	12箇所	11箇所																																											
長戸小学校	8箇所	7箇所																																											
八原小学校	3箇所	1箇所																																											
馴柴小学校	7箇所	5箇所																																											
川原代小学校	4箇所	4箇所																																											
北文間小学校	2箇所	2箇所																																											
龍ヶ崎西小学校	6箇所	6箇所																																											
松葉小学校	1箇所	1箇所																																											
長山小学校	2箇所	2箇所																																											
馴馬台小学校	8箇所	7箇所																																											
久保台小学校	1箇所	1箇所																																											
城ノ内小学校	10箇所	10箇所																																											
合計	68箇所	61箇所																																											
成果・課題等	<p>通学路の緊急合同点検箇所により、対策が必要とされた箇所については、注意喚起の看板、路面への表示、信号機の設置などの対策を実施しました。改善に至っていない箇所については、今後も関係機関と連携して、改善が図れるように取り組みます。</p> <p><通学路の危険箇所の改善対策状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道の新規整備 1箇所 ガードレールの新規設置 1箇所 路面の改修 1箇所 運転者への注意喚起のための縁石のペイント 1箇所 除草等による見通しの改善 2箇所 立て看板の新規設置 8箇所 横断歩道の塗り直し 4箇所 停止線、止まれ、路側線等の塗り直し 8箇所 路面への「スクールゾーン」の表示 1箇所 信号機の設置 1箇所 路面のカラー舗装 1箇所 その他、ボランティアによる見守りなどによる安全対策強化 37箇所 																																												

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(7) 安全な学校・地域づくりの推進		
事業No	23	事業名	防犯活動の推進
担当課	学務課		

実施状況	<p>(1) 積極的な情報発信 学校などから寄せられる不審者情報を速やかに市のホームページへ掲載するとともに、市メール配信サービスにより、登録者（H25. 3. 29 時点：4, 323 人）へ不審者情報を配信し、注意喚起に努めました。 また、市内高等学校や小中学校、さらには民間企業等で構成されている不審者情報連絡網を活用した幅広い周知活動を行うなど、地域の防犯活動が継続的に実施されるよう努めました。 このほか、県へ不審者情報提供を行い、県のホームページにも掲載しています。</p> <p>(2) 防犯パトロールの実施 市教育委員会職員による週2回の防犯パトロール（火・金）を継続して行うとともに、不審者情報が頻発している地域を重点的に行うことで、犯罪の抑止力になり、更には地域の防犯意識の高揚に努めました。 また、防犯活動の一環として、市防災無線による下校時の子どもの見守り放送についても週2回（月・木）継続して実施しました。</p> <p>(3) 地域防犯活動団体との連携 地域の方や保護者の方に、学校の登下校時、見守りを行ってもらうことで、児童生徒が安全に登下校できる環境づくりにご協力頂きました。 また、地域防犯サポーターの活動により、地域の見回りなども活発化しています。 このほか、小中学校を通じて、防犯ボランティアの方々へ蛍光防犯帽子 103 個、蛍光ベスト 10 着、腕章 33 枚を配布しました。</p>
成果・課題等	<p>子どもを犯罪から守るためには、地域ぐるみの継続した防犯活動が大切であると考えます。より多くの方々に、この取組や活動に参加してもらい、継続的に実施していくための環境づくりが課題となっています。</p> <p>また、平成 18 年度から本格化した防犯パトロールによる防犯活動は、児童生徒をはじめ、教職員、地域の住民やボランティア等に広く認知されており、地域の防犯意識の高揚の一助となっています。青色防犯パトロール講習の受講、継続した防犯パトロール等、取組を続けることにより、犯罪を未然に防ぐことに資する活動を目指します。</p>

施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 生涯学習推進体制の充実		
事業No	24	事業名	龍ヶ崎市社会教育委員会議の開催
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>社会教育委員は社会教育行政に市民の意見を反映させるため、社会教育法に基づき教育委員会が委嘱しています。</p> <p>社会教育委員の構成は学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者で、龍ヶ崎市の社会教育に対する意見をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回社会教育委員会議 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成24年9月27日(木) 議 題 ・平成23年度社会教育主要施策成果報告 ・平成24年度社会教育主要事業 ・第2回社会教育委員会議 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成25年3月26日(火) 議 題 ・平成24年度社会教育主要事業実施状況 ・スポーツ施設の指定管理者制度の導入について ・図書館の指定管理者制度の導入について <p>社会教育委員研修</p> <p>社会教育委員からは社会教育に関し幅広く意見をいただくことから、社会教育についての知識の向上を目的とした研修会に参加していただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲敷郡・龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市社会教育委員連絡協議会研修会 <ul style="list-style-type: none"> 実施日 平成25年1月23日(水) 参加者 6名 内 容 講演 演題 「ケータイ・インターネットの危険性」 講師 茨城県メディア教育指導員連絡会会長 堤 千賀子 氏
成果・課題等	<p>社会教育委員会議で委員から出された意見を取り入れ、中央図書館の鑑賞室を学習室として開放しました。市民の社会教育に対するニーズは多様化しており、今後も社会教育施設の利便性向上も含め、幅広く意見をいただき、社会教育行政に反映させていく必要があります。</p>

施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 生涯学習推進体制の充実		
事業No	25	事業名	生涯学習プログラム事業の充実
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>コミュニティセンター講座・教室のほか、図書館や歴史民俗資料館などで行われている生涯学習事業のメニューを充実させ、市民の参加機会の拡大につとめるとともに、親子でふれあいながら夏休みや冬休みの思い出づくりができる「親子ふれあい教室」を実施しました。</p> <p>(1)生涯学習プログラムの情報提供 生涯学習関連の教室・講座などの情報を生涯学習プログラム（82プログラム）として、とりまとめ、広報紙及びホームページへ掲載し、さまざまな学習の機会を提供しました。</p> <p>(2)親子ふれあい教室の開催 地域で活動する方に講師になっていただき、主に小学生の親子を対象に「親子ふれあい教室」事業を実施しました。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>日時・場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子ふれあい陶芸教室 (陶芸作品の創作)</td> <td>7月21日(土) ふるさとふれあい公園アトリエ</td> <td>15組35人</td> </tr> <tr> <td>親子ふれあい押し花教室 (押し花のコスター・しおり作り)</td> <td>7月29日(日) 歴史民俗資料館 多目的室</td> <td>10組24人</td> </tr> <tr> <td>親子ふれあいクリスマスリース教室 (クリスマスリースの作成)</td> <td>12月9日(日) 歴史民俗資料館 多目的室</td> <td>9組20人</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	日時・場所	参加者数	親子ふれあい陶芸教室 (陶芸作品の創作)	7月21日(土) ふるさとふれあい公園アトリエ	15組35人	親子ふれあい押し花教室 (押し花のコスター・しおり作り)	7月29日(日) 歴史民俗資料館 多目的室	10組24人	親子ふれあいクリスマスリース教室 (クリスマスリースの作成)	12月9日(日) 歴史民俗資料館 多目的室	9組20人
	講座名	日時・場所	参加者数										
	親子ふれあい陶芸教室 (陶芸作品の創作)	7月21日(土) ふるさとふれあい公園アトリエ	15組35人										
親子ふれあい押し花教室 (押し花のコスター・しおり作り)	7月29日(日) 歴史民俗資料館 多目的室	10組24人											
親子ふれあいクリスマスリース教室 (クリスマスリースの作成)	12月9日(日) 歴史民俗資料館 多目的室	9組20人											
成果・課題等	<p>市が実施する講座情報を一括して情報提供することにより、市民が講座を選択する際の利便性の向上を図りました。</p> <p>親子ふれあい教室では、普段、仕事などの理由により、長時間の親子のふれあいがもてない家庭が増えている中、学びを通して親子の会話や、協同作業により親子の自然なふれあいができる機会を提供しました。</p>												




施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 図書館の充実		
事業No	26	事業名	中央図書館の管理運営
担当課	中央図書館		

実施状況	(1) 利用人数・貸出冊数					
	① 個人貸出					
	館名	貸出人数(人)	貸出冊数(冊)	館名	貸出人数(人)	貸出冊数(冊)
	中央図書館	68,814	341,961	川原代	80	237
	松葉	4,082	12,524	八原	1,185	4,332
	長戸	37	90	久保台	1,384	5,093
	大宮	94	263	龍ヶ崎西	400	1,129
	北文間	148	337	馴馬台	675	2,647
	馴柴	2,251	7,605	城ノ内	815	3,411
	長山	3,001	10,061	計	82,966	389,690
	② 団体貸出					
	貸出団体数		貸出冊数			
	721 団体		6,372 冊			
	(2) イベント開催状況					
内容		回数(回)	参加者数(人)			
市民文芸セミナー	俳句講座	10	14			
	川柳講座	10	12			
牛山純一映画会		9	37			
図書館まつり(セミナー受講生作品展・おはなし会)		(おはなし会参加者) 46				
市民文学散歩		2	延べ59			
こども読書週間イベント		1	31			
夏休みこどもセミナー		4	72			
おはなし会		20	238			
こぐまちゃんのおはなし会		11	194			
たつの子お話タイム		12	58			
リサイクルBOOK		3	6,700冊程度提供			
※市民文芸セミナーは俳句14名、川柳12名の会員による講座						
成果・課題等	<p>7月に、図書館システムのリプレースを行いました。特にWEBサービスで新しい機能が追加され、利用者が使いやすいHPを作成することが出来ました。また、YA図書(中学生、高校生向けの図書)をまとめてコーナーを設置することで、中高生への利用促進を図ることができました。</p> <p>現在、館内の書架スペースが手狭になり、図書が探しづらい状態にありますので、今後は、時代に合わない図書や破損汚損のある図書の除籍を積極的に進め、コミュニティセンター図書室の図書の入れ替えを行うなど、書架スペースに余裕を作り出す必要があります</p>					

施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 図書館の充実		
事業No	27	事業名	ブックスタート事業
担当課	中央図書館		

実施状況	<p>本市では、読み聞かせの大切さを乳幼児の保護者へ伝えるブックスタートの取組を平成18年度より実施しています。</p> <p>保健センターが実施する3・4か月児健診時に、健診の合間に時間を設けて行い、図書館で公募したボランティアが、乳幼児と保護者に実際に読み聞かせをして、読み聞かせの方法や大切さを伝えながら絵本を1冊プレゼントしました。会場では、ブックスタートの受付時に、希望する方へ図書館会員カードを作成していますが、参加者566名のうち479名の方がカードの作成を希望しました。</p> <p>ブックスタートのボランティアについて、追加募集を行ったところ、3名の申し込みがあり、講義と実技の研修を行いました。</p> <p>●ブックスタート実施日・参加者数</p>							
	月日	曜日	参加者数(人)	会員カード作成者数(人)	月日	曜日	参加者数(人)	会員カード作成者数(人)
	4月10日	火	29	27	10月16日	火	24	23
	4月20日	金	30	24	10月26日	金	24	20
	5月15日	火	23	19	11月9日	金	27	24
	5月29日	火	25	21	11月20日	火	21	21
	6月12日	火	17	15	12月11日	火	29	25
	6月22日	金	17	17	12月18日	火	27	17
	7月13日	金	20	15	1月15日	火	23	17
	7月20日	金	21	14	1月25日	金	25	23
	8月17日	金	26	25	2月8日	金	20	14
	8月24日	金	27	20	2月22日	金	23	18
	9月14日	金	22	20	3月12日	火	23	19
	9月28日	金	21	21	3月22日	金	22	20
成果・課題等	<p>●配布図書</p> <p>4月10日～4月20日 かおかおどんなかお こぐま社</p> <p>5月15日～3月22日 もうおきるかな 福音館書店</p>							
	<p>絵本の読み聞かせによる、乳幼児との触れ合いの方法や大切さを伝えることができ、また、会場で図書館の場所や利用方法、おはなし会の案内などを行うことにより、図書館の利用促進を図ることができました。</p> <p>平成18年5月の開始から5年が経過しているブックスタートが、参加した市民にどのように受けてめられているのかアンケートなどによる調査を行い、案内の仕方や実施方法などを再検討していく必要があります。</p>							

施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 図書館の充実		
事業No	28	事業名	子どもの読書活動の推進
担当課	中央図書館		

実施状況	<p>平成22年度に策定した「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第二次)」と「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第二次)行動計画」について関係各課へ実施した事業の報告を依頼し、事業報告書を作成しました。</p> <p>中央図書館としては、貸出率が落ちる中学生から高校生を対象とした図書を集めてコーナーを作り、お薦め図書などを配置して貸出のPRを行いました。</p> <p>また、図書館システムの更新を機に、こども向けのOPAC(利用者が自分で図書館の蔵書を調べたり、予約したりすることが出来るパソコン)を、児童コーナーに配置しました。こども向けのOPACは、タッチパネル方式であることや、画面や案内が優しいことから利用が多く、親子で使用している様子が良く見受けられます。</p>
	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <p>【児童コーナーに設置した、こども向けOPAC】</p> <p>タッチすると眠っているりすのキャラクターが目をさましたり、季節に合わせて衣替えしたりと、子どもに親しみやすい画面になっています。タッチパネルで簡単に本を探ことができ、タイトル等もひらがな表記で読みやすいため、多くの子どもたちに利用されています。</p> </div> </div> <div style="display: flex; margin-top: 10px;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <p>【中学生から高校生を対象とした図書のコーナー】</p> <p>新たに、カウンター脇に中学生～高校生向けの図書コーナーを設置しました。コーナー前に展示スペースを設け、新コーナーをPRしました。</p> <p>2013年3月31日現在で、830冊程度の本を用意しました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; margin-top: 10px;"> <div style="flex: 1;">  </div> </div>
成果・課題等	<p>中央図書館の児童サービスについては、子ども向けOPACやYA図書コーナーの設置など、新たなサービスを開始し、子どもの利用環境を改善しました。</p> <p>龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第二次)及び「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第二次)行動計画」については策定から2年が経過し、事業の内容や取り組み等の見直しが必要になって来ることが考えられるため、子ども読書活動推進会議を開催し、計画全体の進捗状況の確認と今後の事業内容について検討していきます。</p> <p>また、おはなし会については、ボランティアのスキルアップが図られつつありますが、参加者の低年齢化に伴い、おはなし会で求められるスキルが違って来ているため、変化に対応した研修に変えていく必要があります。</p>

施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 図書館の充実		
事業 No	29	事業名	指定管理者制度等の運営方針の決定
担当課	中央図書館		

実施状況	<p>(1) 現況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館に係る経費等の現状分析（5月） 中央図書館及び市HP上での「図書館利用者アンケート」の実施（7/20～8/10） <p>(2) 他市図書館調査及び運営方法別経費等に関する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久市立図書館に訪問し、NPO法人活用の経費等現状把握（6月） 千葉県野田市立図書館を訪問し、指定管理者導入に関する調査を実施（7月） 潮来市立図書館へ市直営時及び指定管理者導入後の経費等比較調査を実施（9月） 参考見積をとった民間事業者（3社）と当図書館との経費比較の説明（11月） <p>(3) 図書館協議会からの意見聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回図書館協議会（8/21） 委員より今後の図書館の方向性については勉強会を開催し、その中で考えていきたいとの意見から、平成24年度に3回勉強会を開催しました。 第1回勉強会開催（委員14名参加・9/28） テーマ「指定管理者制度とは」 第2回勉強会開催（委員13名参加・11/13） 市直営の場合の平成25年度から市民サービスの向上（案）について説明 第3回勉強会開催（委員9名参加・1/18） 潮来市立図書館視察 第2回図書館協議会（委員13名出席・1/30） 今後の中央図書館の運営のあり方について、意見の集約が図られました。 <p>(4) 今後の図書館運営方針に関する検討書の作成及び庁議での合意</p> <p>(1)～(3)を踏まえた「今後の図書館運営方針に関する検討書」を作成、庁議において報告し合意を得ました（2月）。</p> <p>検討書による図書館運営方針・・・平成27年度を目標に指定管理者制度を導入</p>
成果・課題等	<p>当図書館の運営経費に関する分析、利用者アンケートの実施の他、他市図書館の現状や運営方法別経費等の比較を踏まえながら、図書館協議会での意見を考慮した「今後の図書館運営方針に関する検討書」を作成し、庁議での合意を得ました。今後は、平成27年度の確実な指定管理者導入に向けて、その準備を進めていきます。</p>

施策名	2 生涯学習の推進		
施策の内容	(3) 人材・組織の育成と連携, 活用		
事業 No	30	事業名	人材バンクの充実
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>市民の中から「指導者」を発掘し活用することで、市民同士が学びあえる体制整備に努めました。</p> <p>(1) 人材の確保 多種多様な人材を確保するため、コミュニティセンターに「人材バンク講師登録申請」の受付事務を依頼し、各コミュニティセンターで申請を受理できるようにしました。 【平成 24 年度実績】 人材バンク講師として 8 名を新規登録</p> <p>(2) 講師・指導者の登録・更新 生涯学習活動の講師・指導者の情報を人材バンク名簿(97 人)として、とりまとめ、広報紙及びホームページへ掲載し、周知するとともに、各コミュニティセンターに登録者の情報を提供し、活用の促進を図りました。 人材バンクの分野は、一般教養(外国語、産業・職業)／文芸・歴史(川柳・俳句・短歌等)／芸術(書道・陶芸・音楽・舞踊・絵画等)／生活文化(茶道・生け花・料理 囲碁・着付け・手芸等)／健康(健康体操・太極拳等)／スポーツ(テニス・合気道・スポーツ吹き矢・スクエアダンス等)となっています。 【平成 24 年度実績】 問い合わせ紹介件数：28 件 (健康体操、編み物、洋菓子作り、水墨画、詩吟、スポーツ吹き矢、書道、着物着付け、パソコンの使い方、韓国語等)</p> <p>(3) 講師・指導者の紹介 人材バンク登録者の活用を促進するために、市民からの問い合わせに対応するだけでなく、コミュニティセンターでの各種教室講座へ講師として人材を紹介しました。 【平成 24 年度実績】 コミュニティセンター教室・講座の講師：料理、健康体操、絵画、プリザーブドフラワー、書道、折り紙、絵手紙、韓国語、篆刻等延べ 14 講座で 11 名の講師が、人材バンクから派遣されました。</p>
成果・課題等	<p>「人材バンク制度」では、97 人の人材を確保し、広報紙、ホームページ、各コミュニティセンターで PR を重ねていますが、平成 24 年度の問い合わせは、28 件と低調でした。これは、市民の生涯学習に対する意識が低下したものではなく、「人材バンク制度」自体へのニーズの減退ではないかと捉えています。約 20 年前、「生涯学習」という言葉とともに全国的に気運の高まりを見せていた「人材バンク制度」ですが、情報ツールの急激な進歩によるライフスタイルの変化に端を発し、他自治体でもその制度の存続が危ぶまれています。</p> <p>今後は、当初の活用方法であった市民個々への紹介に加え、コミュニティセンター等で人材バンク登録者を講師とした講座を行う等、人材バンクの新たな活用の方法を模索することが課題であると考えています。</p>

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(1) 青少年の社会参画		
事業No	31	事業名	職場体験活動の推進
担当課	指導課		

実施状況	<p>中学校における進路学習の一環として、市内全中学校第2学年の全生徒を対象に、発表会を含めて3日程度実施するよう指導しています。実施にあたって、市内外の事業所をはじめ教育委員会各課にも協力をいただいています。各事業主には趣旨をご理解頂き、協力体制が整ってきました。この体験活動を通して、将来の生き方を考え望ましい職業観、勤労観を醸成することができるように指導計画等の工夫改善に努めました。</p> <p>(1) 事前の活動 各中学校では茨城県教育委員会作成の「中学生社会体験事業トライアルハンドブック」を活用しながら事前学習の充実に向けて参りました。職場体験学習のガイダンスとして、職業分類、職種の選択、働くことの意義、社会人としてのマナー等について学習しました。</p> <p>(2) 職場体験学習の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>実施期日</th> <th>体験発表会</th> <th>事業成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛宕中学校</td> <td>平成24年11月20,21日</td> <td>実施</td> <td rowspan="6">自分の希望する職種でなくても、働くことの意義を体験を通して学び、今どうあるべきかを顧みる生徒が増えました。</td> </tr> <tr> <td>城南中学校</td> <td>平成24年12月4,5日</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>長山中学校</td> <td>平成24年11月8,9日</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>城西中学校</td> <td>平成24年11月11,12日</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>中根台中学校</td> <td>平成24年11月28,29日</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>城ノ内中学校</td> <td>平成24年11月14,15日</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事後の活動 職場体験学習の成果をまとめ、学習発表会や報告書の相互閲覧を通してお互いに学んだことを共有化しました。進路に対する意識が高揚し、1日1日を大切に生活しようとする生徒が多くなりました。お世話になった事業所などにも礼状を作成する等の学習も実施しました。</p>	学校名	実施期日	体験発表会	事業成果	愛宕中学校	平成24年11月20,21日	実施	自分の希望する職種でなくても、働くことの意義を体験を通して学び、今どうあるべきかを顧みる生徒が増えました。	城南中学校	平成24年12月4,5日	実施	長山中学校	平成24年11月8,9日	実施	城西中学校	平成24年11月11,12日	実施	中根台中学校	平成24年11月28,29日	実施	城ノ内中学校	平成24年11月14,15日	実施
	学校名	実施期日	体験発表会	事業成果																				
愛宕中学校	平成24年11月20,21日	実施	自分の希望する職種でなくても、働くことの意義を体験を通して学び、今どうあるべきかを顧みる生徒が増えました。																					
城南中学校	平成24年12月4,5日	実施																						
長山中学校	平成24年11月8,9日	実施																						
城西中学校	平成24年11月11,12日	実施																						
中根台中学校	平成24年11月28,29日	実施																						
城ノ内中学校	平成24年11月14,15日	実施																						
成果・課題等	<p>小学校におけるキャリア教育においても、保護者や地域の職場見学等の体験的、実践的活動を実施しております。小中学校での職場見学、体験等の学習内容の共有化を図り、より発展的、効果的な学習となるよう小中学校の連携を図ります。</p> <p>生徒のニーズに合う受け入れ事業所の拡大と生徒の日程調整については、毎年課題に挙げられることですが、関係機関へのご理解ご協力を得ながら、職場体験学習の充実を図ります。</p>																							

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(1) 青少年の社会参画		
事業No	32	事業名	成人式典の開催
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>成人者にとって思い出に残るような式典とするため、市内の6中学校ごとに新成人の代表による「成人式運営委員会」を組織し、成人式の企画・運営を行い、成人式を実施しました。</p> <p>(1) 成人式典の開催</p> <p>本市の成人式典の特徴は「新成人による企画運営」、「中学校区別での分散型」です。市内6中学校からそれぞれ推薦された男女6名が「成人式運営委員」となり、計3回の会議を行い、式典当日の担当、アトラクション内容等の打ち合わせをしました。</p> <p>式典は2部構成で開催され、第1部は来賓祝辞や成人者代表による抱負発表といったトラディショナルな形式に則った式典であり、厳かにかつ粛々と式は進められました。第2部はアトラクションとしてビンゴゲームが行われ、伸びやかで華やいだ雰囲気となり、若者らしさにあふれ朗らかな光景となりました。</p> <p>卒業した中学校を会場としているため、会場内はすべて顔見知りであり、また、来賓には中学生時代の恩師をお招きしていることから、各会場とも和気あいあいと和やかな成人式典でした。</p> <p>成人者の参加率は、70.4%と過去5年間の平均70.6%とほとんど同率ですが、市内中学校の卒業生をベースに算出すると84.9%と高い参加率となっています。</p>																																																																																					
	<p>平成25年 成人者及び成人式典出席者数 (平成25年1月13集計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 校 名</th> <th colspan="3">成人者数 (人)</th> <th colspan="3">式典出席者数 (人)</th> <th rowspan="2">出席率 (%)</th> <th rowspan="2">中学校の卒業生 (人)</th> <th rowspan="2">卒業生の出席率 (%)</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛宕中学校</td> <td>68</td> <td>51</td> <td>119</td> <td>41</td> <td>36</td> <td>77</td> <td>64.7</td> <td>96</td> <td>80.2</td> </tr> <tr> <td>城南中学校</td> <td>129</td> <td>63</td> <td>192</td> <td>56</td> <td>44</td> <td>100</td> <td>52.1</td> <td>122</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>長山中学校</td> <td>67</td> <td>55</td> <td>122</td> <td>50</td> <td>39</td> <td>89</td> <td>73.0</td> <td>106</td> <td>84.0</td> </tr> <tr> <td>城西中学校</td> <td>69</td> <td>99</td> <td>168</td> <td>52</td> <td>67</td> <td>119</td> <td>70.8</td> <td>136</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>中根台中学校</td> <td>103</td> <td>92</td> <td>195</td> <td>82</td> <td>76</td> <td>158</td> <td>81.0</td> <td>182</td> <td>86.8</td> </tr> <tr> <td>城ノ内中学校</td> <td>109</td> <td>82</td> <td>191</td> <td>82</td> <td>70</td> <td>152</td> <td>79.6</td> <td>177</td> <td>85.9</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>545</td> <td>442</td> <td>987</td> <td>363</td> <td>332</td> <td>695</td> <td>70.4</td> <td>819</td> <td>84.9</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	成人者数 (人)			式典出席者数 (人)			出席率 (%)	中学校の卒業生 (人)	卒業生の出席率 (%)	男	女	計	男	女	計	愛宕中学校	68	51	119	41	36	77	64.7	96	80.2	城南中学校	129	63	192	56	44	100	52.1	122	82.0	長山中学校	67	55	122	50	39	89	73.0	106	84.0	城西中学校	69	99	168	52	67	119	70.8	136	87.5	中根台中学校	103	92	195	82	76	158	81.0	182	86.8	城ノ内中学校	109	82	191	82	70	152	79.6	177	85.9	合 計	545	442	987	363	332	695	70.4	819
学 校 名	成人者数 (人)			式典出席者数 (人)			出席率 (%)	中学校の卒業生 (人)				卒業生の出席率 (%)																																																																										
	男	女	計	男	女	計																																																																																
愛宕中学校	68	51	119	41	36	77	64.7	96	80.2																																																																													
城南中学校	129	63	192	56	44	100	52.1	122	82.0																																																																													
長山中学校	67	55	122	50	39	89	73.0	106	84.0																																																																													
城西中学校	69	99	168	52	67	119	70.8	136	87.5																																																																													
中根台中学校	103	92	195	82	76	158	81.0	182	86.8																																																																													
城ノ内中学校	109	82	191	82	70	152	79.6	177	85.9																																																																													
合 計	545	442	987	363	332	695	70.4	819	84.9																																																																													
成果・課題等	<p>「成人式典の開催」については、分散方式により人手がかかる問題もありますが、前述したように良好な参加率に加え、円滑に和やかな雰囲気です式典運営ができるなど、利点が大きいと、成人者からのコンセンサスを得つつ、当面は分散方式を取り入れていきたいと考えています。</p> <p>また、成人式運営委員会構成メンバーの選定方法をはじめ、式の構成や運営方法について、これまで以上に新成人の意見や独自性を盛り込むべきかどうかなどを、過去の実績や他市町村の事例を参考に検討していくことが課題であると考えます。</p>																																																																																					

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(2) 青少年育成関係機関の連携		
事業No	33	事業名	青少年センターの充実
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>青少年関連団体による市内巡回指導，街頭あいさつ・声掛け運動など積極的に地域に出て青少年の健全育成を推進し，同時に青少年の非行防止と，犯罪に巻き込まれないための指導に努めました。</p> <p>(1) あいさつ・声かけ運動 市青少年センター及び青少年育成龍ヶ崎市民会議，保護司会などの関係機関・団体と連携して，7月及び11月に「あいさつ・声かけ運動」キャンペーンを市内3ショッピングセンター及び市内小学校13校で実施し，青少年の健全育成及び問題行動抑止に努めました。</p> <p>【平成24年度実績】</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>7月</td> <td>小学校13校立哨</td> <td>75人</td> <td>ショッピングセンター</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>小学校13校立哨</td> <td>81人</td> <td>ショッピングセンター</td> <td>70人</td> </tr> </table> <p>(2) 市内巡回及び街頭指導 青少年相談員（一般13人，小中学校教員19人，高等学校教員4人，合計36人）が毎月3回（2班編成，A班14:00～17:00・B班16:00～19:00），学校周辺・大型店舗・インターネットカフェ・ゲームセンター・レンタルビデオ店・カラオケ店・駅・公園などを巡回し，青少年に声かけを行う等，街頭指導を実施しました，</p> <p>【平成24年度実績】</p> <p>回数：52回／延べ人数：152人</p>	7月	小学校13校立哨	75人	ショッピングセンター	68人	11月	小学校13校立哨	81人	ショッピングセンター	70人
7月	小学校13校立哨	75人	ショッピングセンター	68人							
11月	小学校13校立哨	81人	ショッピングセンター	70人							
成果・課題等	<p>あいさつ・声かけ運動では，3箇所のショッピングセンターで計約1,800人に啓発用品を配布し，あいさつ・声かけの励行を呼びかけました。</p> <p>市内巡回及び街頭指導では，青色回転灯付きのパトロールカーを用いて，不審者情報が寄せられた場所を重点的に巡回し，犯罪の抑止に努めました。</p>										

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(2) 青少年育成関係機関の連携		
事業No	34	事業名	「龍ヶ崎地区更生保護サポートセンター」の開設
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>保護司の方々には、保護観察対象者との面談などを通し、更生・社会復帰を支援する重要な役割を担っていただいておりますが、その活動場所の確保が大きな課題となっている状況にありました。</p> <p>平成24年4月に法務省水戸保護観察所から、牛久市及び河内町を含む龍ヶ崎地区保護司会の活動拠点の設置協力要請があり、市役所附属棟1階を「更生保護サポートセンター」として活用することとしました。</p> <p>平成24年7月に開設したこの施設は、県内では土浦地区、筑西地区に次いで3番目の設置となりました。</p> <p>○更生保護サポートセンターの業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護観察対象者との面談、保護司同士による相談、情報交換の場所の提供。 ・地域の関係機関・団体との連携の推進。 ・犯罪や非行問題に関する地域住民の相談の受付、非行予防活動の推進。 ・やり直そうとする人への理解のあり方、支援のあり方、保護司活動に関する情報提供。 ・龍ヶ崎地区保護司会の運営の推進 <p>サポートセンターの開設により、従来自宅等で行っていた保護観察対象者との面談の場が確保されたほか、保護司間の情報交換、保護司研修会等、保護司活動の拠点施設として利用が図られました。</p> <p>また、更生保護活動だけでなく、青少年育成関係団体である市子ども会育成連合会及び青少年育成龍ヶ崎市民会議との連携が図られ、各団体が実施する事業に相互に会員が参加することにより、より効果的な活動を推進しました。</p> <p>その他、サポートセンターの設置により、市との間の連絡がより円滑になったことで、保護司の協力を得て、新たに保護司と市職員が共に市内学校周辺や店舗を重点的に訪問する巡回活動を行うなど、青少年健全育成のための一助とすることができました。</p>
成果・課題等	<p>更生保護サポートセンターの開設は保護司のサポートの場としてだけでなく、市子ども会育成連合会及び青少年育成龍ヶ崎市民会議の事業に相互に参加しました。今後は、市子ども会育成連合会及び青少年育成龍ヶ崎市民会議との事業に対する相互協力の定着が課題となっています。</p>

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(3) 相談体制の充実		
事業 No	35	事業名	家庭教育及び青少年相談体制の充実
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>「家庭教育のあり方」について、3歳児健診や就学時健康診断、セミナー開催時など、子を持つ親同士のふれあいや各セミナー間の交流を深めながら情報の提供及び交換を行うとともに、親や家庭のあり方、子どものしつけ、食育などについて学習する機会を提供しました。</p> <p>(1) 子育てふれあいセミナーの実施 保護者が、子育てや教育に関する悩みなどを話しあえる機会や、家庭教育に関する学習環境を整える目的で、小中学校共に1年生を持つ保護者を対象に、市内小中学校全19校で実施しました。家庭教育に関するプログラムは、セミナー生が自ら作成し、年間6回程度のセミナーを行っています。 家庭教育指導員が学校毎に、セミナー生に対して助言や指導をしながら、セミナー生が独自に下記のようなプログラムを作成し実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの栄養やバランスのとれた食事を考えるための給食センターの見学と試食 ・子どもを家庭で教育する上で参考になる講演会 ・情報交換や共同活動をするための他校との交流会など <p>【平成24年度実績】家庭教育セミナー参加人数：1,456人/参加率：69%</p> <p>(2) 3歳児健診時及び就学時健康診断時の家庭教育講話の実施 保健センターで実施している3歳児健診の際、家庭教育指導員が家庭教育ブック「ひよ子」や紙芝居を使い、保護者に対し家庭教育についての講話を行いました。 また、小学校で実施している就学時健康診断の際、家庭教育指導員が家庭教育ブックを使い、保護者に対し家庭教育についての講話を行いました。</p> <p>(3) 家庭教育相談の実施 多様化する子育てや青少年に係わる家庭教育の悩みなどの解決を図るため、家庭教育指導員が家庭教育相談を行いました。特に難しい思春期の子どもと母親・父親との関係についての相談が多く、親子関係で悩む相談に対して解決策を提案できるよう、身近な相談機関としての位置を保ちながら相談業務を実施しました。 【平成24年度実績】 電話相談件数：23件</p> <p>(4) 青少年相談 青少年の生活や行動に疑問や不安を持っている保護者からの相談に応じるため、市青少年センターでの青少年相談員による相談体制の充実と周知に努めました。</p>
成果・課題等	<p>子育てふれあいセミナーでは、子育てに関する不安や悩み、同じ年頃の子をもつ保護者同士が、セミナー等に参加することで、情報交換や相談の場となり、心の安定や家族とのコミュニケーションがスムーズになった等の意見が、感想文集に多く記されています。平成24年度は、平日ではセミナーに参加出来ない保護者のために、日曜日に全体研修会を開催しました。</p> <p>相談業務については、子育てに悩む保護者が気軽に相談できるよう周知を図ります。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(4) 青少年を取り巻く健全な環境づくり		
事業 No	36	事業名	遊びの拠点づくり
担当課	青少年育成課・施設整備課		

実施状況	<p>(1) 拠点公園の選定、遊具等の設置</p> <p>所管各課と8回にわたる協議を行うとともに、政策推進会議に図り、拠点となる公園の選定や遊具の設置などについて検討しました。これにより、平成25年度に、市民や有識者等で構成する「(仮)遊びの拠点づくり検討委員会」を設置し、以下の件について協議していくこととなりました。</p> <p>①個性と魅力ある公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる公園の選定（龍ヶ岡公園，森林公園 等） ・設置する遊具 <p>②身近な公園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とその保護者が屋外で交流できる場として、街区公園等の整備とその管理の考え方を検討 <p>(2) プレーパーク運営状況の先進地視察（牛久市・四街道市・つくば市・横浜市）</p> <p>4自治体のプレーパークの実施状況を視察し、龍ヶ崎市で実施する場合の問題点や課題を整理しました。</p> <p>【先進地の実施状況】</p> <p>視察を行った上記4か所のプレーパークは、いずれもプレーパークをつくりたいとの強い思いを持つ子どもたちの保護者や地域住民等が集まり結成された団体によりプレーパークが設置され、活動を進めるプレイリーダーの配置などの運営も行われていました。</p> <p>行政側は運営費の補助や、プレーパークの設置場所である公園の使用許可などを通じて、運営の協力をするなど、市民と行政が協働して事業を行っていました。</p>
成果・課題等	<p>遊びの拠点となる大型遊具を設置する公園の選定に向けて、所管各課と協議を行うとともに、プレーパーク運営・実施する4自治体に視察を行いました。安心して楽しく遊べる拠点公園の選定や、遊具等の設置については、教育関係者や子どもを持つ親の視点で意見を聴取し、協議することが重要です。</p>

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(4) 青少年を取り巻く健全な環境づくり		
事業No	37	事業名	屋外広告物の巡視、指導等の実施
担当課	青少年育成課		

実施状況	<p>青少年が好ましい環境で成長できるよう、店舗の巡回や違法屋外広告物の巡視を行い、青少年の健全な育成が図られる環境の整備を行いました。</p> <p>(1) 定期的な巡回及び設置業者への指導 茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づき、青少年に有害な図書等の一掃を図るため、定期的な巡回及び設置業者への指導を行いました。</p> <p>(2) 違法屋外広告物の巡視 青少年のための健全な環境づくりを目指し、青少年相談員による市内全域を対象とした違法屋外広告物（貼りビラ・捨て看板）の巡視を実施しました。 【平成24年度実績】 回数：3回／撤去：0件</p> <p>(3) 青少年の健全育成に協力する店との連携 市内の『青少年の健全育成に協力する店』の登録店、全52店を訪問し、「青少年にふさわしくない行動を発見した場合は、ただちに注意するほか、青少年センターや青少年育成課または警察に連絡するなどして、青少年の健全育成に協力する。」ことを確認し、啓発チラシ等を配布しました。</p>
成果・課題等	<p>『青少年の健全育成に協力する店』を3店舗新規登録しました。</p> <p>青少年相談員の街頭指導の際に、市内の『青少年の健全育成に協力する店』の登録店、全52店舗を訪問し、青少年の健全育成に協力することを確認し、啓発チラシ等を配布する等、環境整備に努めました。</p> <p>市内の違法な看板やポスターなどは、地域の団体などの協力もあり、張り付けられることは少なくなっています。今後も不定期に巡視を行い、監視します。</p>

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(5) 保育サービスの充実		
事業No	38	事業名	保育・預かりサービスの充実
担当課	青少年育成課・こども課		

実施状況	<p>市内の全小学校の教室や専用施設（13校20ルーム）において、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施し、すべての小学校で全学年を対象とした学童保育ルームの運営を目指し、施設の整備・拡充を図りました。</p> <p>(1) 放課後児童健全育成事業の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月から3校の保育ルームで入所枠（学年）を拡大しました。 小学校3年生→6年生まで拡大：松葉小学校保育ルーム・馴染小学校保育ルーム 小学校3年生→4年生まで拡大：久保台小学校保育ルーム 保育ルームの需要予測の結果、保育ルームの増設の必要がない八原小学校保育ルーム（3年生→4年生）、久保台小学校保育ルーム（4年生→6年生）で、指導員の増員や備品購入による受け入れ態勢を整備しました。 <p>平成24年度入所児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4/1</th> <th>9/1</th> <th>3/1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>龍ヶ崎小学校</td> <td>62</td> <td>54</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>大宮小学校</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>長戸小学校</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>八原小学校</td> <td>104</td> <td>101</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>馴染小学校</td> <td>96</td> <td>91</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>馴染台小学校</td> <td>46</td> <td>47</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>川原代小学校</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各月1日時点の登録児童数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4/1</th> <th>9/1</th> <th>3/1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北文間小学校</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>龍ヶ崎西小学校</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>松葉小学校</td> <td>52</td> <td>56</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>長山小学校</td> <td>25</td> <td>34</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>久保台小学校</td> <td>59</td> <td>49</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>城ノ内小学校</td> <td>99</td> <td>81</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>662</td> <td>629</td> <td>583</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考：こども課の取組)</p> <p>(1) 大宮保育所・北文間保育所敷地への民間保育所誘致（いずれもH25.8.1開園予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「龍ヶ崎市立保育所民営化に係る移管先選考委員会」による選考（決定：H24.5.7） 大宮保育所敷地（社会福祉法人「山ゆり会」）、北文間保育所敷地（社会福祉法人「*大柏学園」⇒社会福祉法人「健伸会」（H24.9.18社会福祉法人認可取得後、事業者を「健伸会」に変更） 保護者、地元住民説明（事業者の決定、旧園舎解体・撤去、開園時期等を通知） 施設整備補助（(仮称)まつやま大宮保育園(旧大宮):H24.9.27交付決定(105,102,000円)、(仮称)なないろ保育園(旧北文間):H24.11.15交付決定(105,111,000円)） 旧園舎(大宮、北文間)解体・撤去(H24.12.27) <p>(2) 「ながと夢保育園」における「地域子育て支援センター」開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度当初より専用スペースで専任保育士を配置し、事業を実施（国庫補助申請：H24.10.1）。 <p>(3) 乳幼児の預かり体制の整備(佐貫駅前送迎ステーション、企業内保育施設)の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前送迎ステーションについて、意向調査や駅前保育の先進地視察を通じ検討した結果、送迎保育ステーションや認可保育所分園、子育て支援センター、一時保育など多様なサービスを提供する施設が必要との結論に達しましたが、幼稚園の認定こども園化など、保育制度改正に伴う様々な動きが今後あると予想されるので、継続して検討していくこととしました。 企業内保育施設について、既存施設の状況に加え、過去に設置意向を示した企業へのヒアリングを通じて、目指すべき方向性を検討しました。 		4/1	9/1	3/1	龍ヶ崎小学校	62	54	54	大宮小学校	27	27	27	長戸小学校	18	20	18	八原小学校	104	101	93	馴染小学校	96	91	83	馴染台小学校	46	47	37	川原代小学校	14	12	15		4/1	9/1	3/1	北文間小学校	19	17	18	龍ヶ崎西小学校	41	40	41	松葉小学校	52	56	53	長山小学校	25	34	27	久保台小学校	59	49	40	城ノ内小学校	99	81	77	合計	662	629	583
		4/1	9/1	3/1																																																													
龍ヶ崎小学校	62	54	54																																																														
大宮小学校	27	27	27																																																														
長戸小学校	18	20	18																																																														
八原小学校	104	101	93																																																														
馴染小学校	96	91	83																																																														
馴染台小学校	46	47	37																																																														
川原代小学校	14	12	15																																																														
	4/1	9/1	3/1																																																														
北文間小学校	19	17	18																																																														
龍ヶ崎西小学校	41	40	41																																																														
松葉小学校	52	56	53																																																														
長山小学校	25	34	27																																																														
久保台小学校	59	49	40																																																														
城ノ内小学校	99	81	77																																																														
合計	662	629	583																																																														
成果・課題等	<p>3校の保育ルームにおいて、入所枠（学年）を拡大しました。これにより、13校中10校で全学年を対象とした運営が可能となりました。</p> <p>城ノ内小学校保育ルームにおいても平成26年4月より6年生まで入所枠を拡大できるよう平成25年度中に専用施設の増設を行います。</p> <p>今後も、すべての保育ルームで全学年を対象とした運営のため、入所率等の動向を見据えながら、施設整備や指導員配置など事前の受け入れ体制の整備を行います。</p>																																																																

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン掲載事業

施策名	3 青少年の健全育成		
施策の内容	(5) 保育サービスの充実		
事業No	39	事業名	保育分野での連携
担当課	青少年育成課・こども課		

実施状況	<p>(1) スポーツ・健康を専門に学ぶ学生との連携事業 龍・連携事業により、流通経済大学に学生の派遣依頼（平成24年4月）を行い、スポーツ健康科学部 小粥准教授が指導するライフセービングクラブ所属の学生の協力のもと、学童保育ルームの児童に対する遊びを取り入れたスポーツ指導を実施しました。（10月～12月） 【平成24年度実績】 龍ヶ崎小学校，龍ヶ崎西小学校，八原小学校の3保育ルームで各3回実施。</p> <p>(2) 流通経済大学の学生に対する夏休み期間の臨時放課後児童指導嘱託員の募集及び採用 流通経済大学に臨時放課後児童指導嘱託員募集依頼（平成24年5月）を行い，大学院生1名，大学生3名の応募者があり，全員を嘱託員として採用しました。</p> <p>(参考：こども課の取組)</p> <p>(3) 龍ヶ崎市立保育所民営化に係る移管先選考委員会の運営連携 選考委員会は，大宮及び北文間保育所の保護者のほか，副市長，健康福祉部長，八原保育所所長，同係長，税理士（1）及び流通経済大学社会学部 米原立将講師の計10名の委員構成により，視察（3回）を含め計6回実施しました。米原委員には，専門的立場から選考方法に対する考え方，選考のための採点指標の作成，現地視察による結果の取りまとめなどで中心的役割を担っていただきました。</p> <p>(4) 流通経済大学と八原保育所との交流事業の実施 流通経済大学社会学部 田中 光教授による園児の運動プログラム（リズム体操，器械体操）を実施。入所児や保護者から高い評価を得ています。</p>
成果・課題等	<p>保育ルーム児童に対して，流通経済大学スポーツ健康科学部の学生により遊びを取り入れたスポーツ指導を実施しました， また，夏休み期間の臨時嘱託員については，大学に平成25年度も引き続き募集を依頼し，応募者を採用する予定です。</p>

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(1) 総合運動公園の充実		
事業No	40	事業名	総合運動公園の管理運営
担当課	スポーツ振興課		

実施状況	<p>「たつのこアリーナ」「たつのこフィールド」「たつのこスタジアム」からなる総合運動公園は、小・中・高校生の各種大会のほか、流通経済大学運動部の公式戦をはじめとするハイレベルなものから市民レベルの大会等まで、多種多様なスポーツ・レクリエーション活動の場として利用されており、また、小さなお子さんを抱えるお母さんたちにも安心してスポーツを楽しんでいただけるよう、アリーナ館内では幼児一時預かりサービスを行うなど、ソフト面でのスポーツ環境の充実も図っています。「たつのこアリーナ」のオープンから11年、「たつのこフィールド」のオープンから6年、「たつのこスタジアム」のオープンから3年が経過し、総合運動公園の機能も安定期に入りつつあります。</p> <p>【平成24年度実績】</p> <p>①龍ケ崎市総合体育館（たつのこアリーナ）利用人数：222,805人 ②龍ケ崎市陸上競技場（たつのこフィールド）利用人数：65,656人（観覧者含む） ③龍ケ崎市野球場（たつのこスタジアム）利用人数：16,563人（観覧者含む）</p>
成果・課題等	<p>総合運動公園の管理運営については、費用対効果の観点からも最大限の効果を上げられるよう、また、利用者にとって最適な環境整備に努めてきたが、平成25年度からは指定管理者制度の導入が予定されており、さらなる市民サービスの向上が期待される。</p>

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(1) 総合運動公園の充実		
事業No	41	事業名	総合運動公園の指定管理者制度の導入
担当課	スポーツ振興課		

実施状況	<p>(1) 現状分析 施設管理運営の整理, 利用者実績の整理, 管理運営コストの整理</p> <p>(2) 導入に向けた検討及び事務作業 施設の運営方式の検討, 導入施設の選定</p> <p>(3) 他市の事例調査 先進地の調査及び視察等 (取手市・東京都板橋区)</p> <p>(4) 政策推進会議 第1回 (6月20日) 導入の検討について 第2回 (10月17日) 施設運営方式と導入施設の協議について</p> <p>(5) 教育委員会 第10回 (10月25日) 指定管理者検討状況について 第1回 (1月23日) 指定管理者の導入に伴う条例の改正について 第3回 (3月27日) 指定管理者の導入に伴う規則の改正について</p> <p>(6) 庁議 第1回 (11月16日) 指定管理者の今後の方針について</p>
成果・課題等	<p>総合運動公園等の指定管理者制度スケジュールを企画課と協議して作成し, 先進地視察等を行い, 施設運営方式と導入施設について検討しました。その後, 政策推進会議及び庁議において協議を行い, 今後の方針について決定しました。</p> <p>また, 民間事業者数社に見積書の提出を依頼しまして, 総合的に検討します。</p> <p>平成25年度には, 指定管理者の申請要領及び仕様書等を作成し, 公募等により指定管理者の選定などを行います。</p>

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(2) 競技水準の向上とスポーツ人口の拡大		
事業No	42	事業名	スポーツ教室・スポーツフェスティバル等の開催
担当課	スポーツ振興課		

実施状況	<p>各種大会やイベントを定期的を開催し、市民のスポーツ参加機会の提供と気軽にスポーツに親しもうとする意識を高めるなど、スポーツ人口の拡大に努めました。</p> <p>各種大会・イベント等事業数：19 事業 各種大会・イベント等参加者数：13,312 人</p> <p>【平成24年度実績（内訳）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①卓球タイム：3,699 人 ②市民ウォークラリー大会：365 人 ③市民スポーツフェスティバル：4,657 人 ④市民スポーツ・レクリエーションまつり：1,500 人 ⑤ヘルシーボール大会：92 人 ⑥高齢者体力テスト：24 人 ⑦ニュースポーツ体験教室：60 名 ⑧中学校駅伝競走大会：144 名 ⑨スポーツ少年団交流大会：347 人 ⑩市民グラウンドゴルフ大会：75 人 ⑪中学生卓球教室：25 人 ⑫たつのコスイミングクラブ：370 人 ⑬たつのコスイミングスクール：677 人 ⑭市民ランニング教室：18 人 ⑮少年少女陸上教室：31 人 ⑯たつのこオープンフィールド：958 人 ⑰たつのこオープンウォーキング：41 人 ⑱スポーツ技術講習会（バドミントン・柔道）：159 人 ⑲スポーツ指導者講習会：70 人
成果・課題等	<p>スポーツが日々の暮らしに取り入れられるよう、今後も各種大会やイベントを定期的で開催し、誰もが気軽にスポーツに参加できる機会を提供していく必要があります。</p>

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(3) 指導者の育成と関係団体との連携		
事業No	43	事業名	スポーツ指導者バンクの充実
担当課	スポーツ振興課		

実施状況	<p>スポーツ指導者バンク登録者の派遣先となる各中学校部活動の意向調査を実施するとともに、個々のニーズに対応すべく体育協会との連携による登録指導者の増員、並びに派遣先の拡大を図りました。</p> <p>また、スポーツ指導の理論及び技術についての「スポーツ指導者講習会」を開催するなど、市内スポーツ指導者の資質向上に努めました。</p> <p>【平成24年度実績】</p> <p>①スポーツ指導者バンク登録者数：27人（前年度比2人増）</p> <p>②スポーツ指導者講習会参加者数：70人（前年度：70人）</p>
成果・課題等	<p>スポーツ指導者バンクの登録者数は増えたものの、まだまだ各中学校からの要望に応えられる状況ではなく、引き続き体育協会等と連携し、登録者数の増加並びに種目数の増加に努める必要があります。</p> <p>また、スポーツ指導者講習会についても、引き続き、魅力的な講師を招致して参加者の増加に努め、スポーツ指導者の資質向上につなげていく必要があります。</p>

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(3) 指導者の育成と関係団体との連携		
事業No	44	事業名	総合型地域スポーツクラブの育成
担当課	スポーツ振興課		

実施状況	<p>関係団体・機関との連携や協力関係を築きながら、子どもから高齢者まで、日常的にスポーツや健康づくりを行い、気軽に交流を深めることができるよう、総合型地域スポーツクラブである、NPO法人「クラブ・ドラゴンズ」の支援・育成を行いました。</p> <p>「クラブ・ドラゴンズ」の支援・育成にあたっては、広報紙「りゅうほー」及び市公式ホームページにおいて、「クラブ・ドラゴンズ」のPR等を行いました。さらに、市が実施しているスポーツイベントへの運営協力や、市で行っているスポーツイベントを「クラブ・ドラゴンズ」へ移管協議のほか、新規事業の立ち上げ等に関する検討も行いました。</p> <p>また、「クラブ・ドラゴンズ」も、新体操クラブや陸上競技教室など、様々な活動を通して市民のスポーツ参加への活動を行っています。</p> <p>なお、「クラブ・ドラゴンズ」は平成14年にNPO法人として設立され、平成22年11月、龍ヶ崎市初の総合型地域スポーツクラブとして設された団体です。現在は流通経済大学を拠点として、6種類のスポーツ教室と学習塾を展開しています。平成24年度の会員数は、正会員が36名、サポート会員が78名、利用会員が310名です。</p> <p>(参考：クラブ・ドラゴンズが実施しているスポーツ教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ラグビー ②フィットネス ③陸上 ④パーソナルトレーニング ⑤バドミントン ⑥新体操
成果・課題等	<p>市民のNPO法人「クラブ・ドラゴンズ」の認知度を高めるとともに、活動内容を増やし、幅広い年齢層が活動できるようにしていく必要があります。</p>

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(4) 流通経済大学との連携促進		
事業No	45	事業名	大学運動部のバックアップ
担当課	スポーツ振興課・企画課		

実施状況	<p>(1) 市の運動施設の優先貸出</p> <p>各運動部と市の運動施設の優先貸出について協議した結果、下記の公式試合が市内で開催されました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">サッカー</th> <th colspan="2">ラグビー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関東大学サッカーリーグ戦</td> <td>12 試合</td> <td>関東大学ラグビー春季大会</td> <td>1 試合</td> </tr> <tr> <td>関東サッカーリーグ (KSL)</td> <td>12 試合</td> <td>関東大学ラグビーリーグ戦</td> <td>1 試合</td> </tr> <tr> <th colspan="2">野 球</th> <th colspan="2">陸上競技</th> </tr> <tr> <td>東京新大学野球連盟・春季リーグ戦</td> <td>2 試合</td> <td rowspan="2">陸上競技会</td> <td rowspan="2">9 回</td> </tr> <tr> <td>東京新大学野球連盟・秋季リーグ戦</td> <td>2 試合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考：企画課の取組)</p> <p>(2) 運動部を支える市民団体との連携</p> <p>大学サッカー部を応援する市民団体、まちの応援団の役員会にオブザーバーとして定期的に参加し、団体の活動状況を把握するとともに、連携体制の構築を図りました。まちの応援団の運営支援として、龍・流連携公式サイト内に【まちの応援団】コンテンツを作成した他、庁舎1階ホールにまちの応援団ののぼり旗を立て、応援団の存在を市民にアピールしました。</p> <p>また、龍・流連携情報ラックを整理し、まちの応援団加入申込書用のスペースを確保しました。</p> <p>(3) 各運動部の公式試合日程等の情報提供</p> <p>各運動部の活動状況等を把握し、試合日程・試合結果を龍・流連携公式サイトや掲示板にて公表した他、タッピーメールを活用したメール配信も行い、市民への周知強化を図りました。</p> <p>(4) 応援ツアーの開催</p> <p>関東大学ラグビーリーグ戦最終戦（東海大学戦）を観戦応援するバスツアー（H24. 11. 25）を開催しました。</p>	サッカー		ラグビー		関東大学サッカーリーグ戦	12 試合	関東大学ラグビー春季大会	1 試合	関東サッカーリーグ (KSL)	12 試合	関東大学ラグビーリーグ戦	1 試合	野 球		陸上競技		東京新大学野球連盟・春季リーグ戦	2 試合	陸上競技会	9 回	東京新大学野球連盟・秋季リーグ戦	2 試合
	サッカー		ラグビー																				
関東大学サッカーリーグ戦	12 試合	関東大学ラグビー春季大会	1 試合																				
関東サッカーリーグ (KSL)	12 試合	関東大学ラグビーリーグ戦	1 試合																				
野 球		陸上競技																					
東京新大学野球連盟・春季リーグ戦	2 試合	陸上競技会	9 回																				
東京新大学野球連盟・秋季リーグ戦	2 試合																						
成果・課題等	<p>まちの応援団との連携体制の構築や各運動部の試合日程の情報提供、関東大学ラグビーリーグ戦応援バスツアーの開催等、平成24年度に予定した取組の全てを実施しました。</p> <p>大学のあるまちのメリットを活かしたまちづくりの施策推進に向けては、まちの応援団の会員数増加への支援やラグビー以外の運動部の応援ツアー開催について大学と協議していくことが必要です。</p>																						

施策名	4 スポーツの振興		
施策の内容	(5) 生涯スポーツの普及		
事業No	46	事業名	生涯スポーツの普及
担当課	スポーツ振興課		

実施状況	<p>ニュースポーツなどの生涯スポーツの普及のため、年齢・体力・性別を問わず気軽に楽しめる環境づくりに努めました。</p> <p>【平成24年度参加者（団体）数実績】</p> <p>①市民ウォークラリー大会：365人（91チーム） ②市民スポーツフェスティバル（18種目）：4,657人 ③市民スポーツ・レクリエーションまつり：1,500人 ④ヘルシーボール大会：92人（11チーム） ⑤高齢者体力テスト：24人 ⑥ニュースポーツ体験教室：60名 ⑦グラウンドゴルフ大会：75人</p>
成果・課題等	<p>生涯スポーツの普及に向け、教育委員会から委嘱されたスポーツ推進委員と連携を図りながら、今後も年齢・体力・性別を問わず誰もが参加しやすいイベントの開催を企画していく必要があります。</p> <p>また、イベントの開催に当たっては、引き続き、市広報紙・市公式ホームページ・ポスター・チラシ等により、幅広く情報提供を行い、参加者の拡大に努めていきます。</p>

施策名	5 芸術・文化の推進		
施策の内容	(1) 文化財の指定・保護		
事業No	47	事業名	文化財の指定・保護
担当課	まちづくり推進課		

実施状況	<p>文化財に指定されている貴重な財産の保護に努めました。</p> <p>【平成24年度実績】</p> <p>7/27 国・県指定文化財現況確認調査</p> <p>7/31 文化財保護指導委員文化財巡視（夏季）（巡視箇所:12ヶ所）</p> <p>12/27 文化財保護指導委員文化財巡視（冬季）（巡視箇所:夏季と同じ）</p> <p>1/30 文化財防火点検（点検建造物:多宝塔・八坂神社本殿）</p> <p>2/ 8 文化財巡視報告会（県南地区）</p> <p>2/14 龍ヶ崎市文化財保護審議会</p>
成果・課題等	<p>平成24年度については、茨城県県南教育事務所から派遣された埋蔵文化財指導員による国・県指定文化財現況確認調査、茨城県から派遣された文化財保護指導委員による文化財巡視、龍ヶ崎消防署と合同で実施した文化財防火点検など、市が誇る貴重な文化財の保護に努めました。</p> <p>引き続き文化財保護審議会委員や埋蔵文化財指導員・文化財保護指導委員からの助言をいただくとともに、まちの活性化の一助として市内に所在する貴重な文化財を広く周知していきます。</p> <p>また、市内には指定文化財以外にも貴重な文化財があることから、それらを含めた広い意味での文化財の保護、周知、活用の実施に向けて取り組んでまいります。</p>

施策名	5 芸術・文化の推進		
施策の内容	(1) 文化財の指定・保護		
事業No	48	事業名	まちの歴史・文化に関する知識の普及
担当課	指導課		

実施状況	<p>撞舞に代表されるような、まちが受け継いできたさまざまな歴史や文化にふれる学習の機会の創出に努めています。</p> <p>(1) 小学校1,2年生 生活科 小学校1,2年生では、生活科「まち探検」という単元において地域について校外学習を行い、地域の自然や文化にふれる機会となっています。</p> <p>(2) 小学校3,4年生 社会科 小学校3年生から社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を活用しながら地域学習を実施しています。龍ヶ崎の歴史や文化についても年間指導計画に位置づけながら学習を進めています。 また、市歴史民俗資料館などの見学を通して、学習効果を高めています。</p> <p>(3) 市新採教員研修 新採教員に対して、新採教員研修の一環として、平成24年4月12日に「龍ヶ崎市についての講話」、平成24年7月24日に「市内施設や歴史的な場所の巡回」を実施し、児童生徒に指導する立場として地域の教材化に努めました。</p> <p>(4) 社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」改訂版の作成 平成24年度は、社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」の編集委員会を組織し、改訂作業を実施し、平成25年3月にその改訂版が完成しました。平成25年度の3年生から改訂版を配布し、活用します。</p>
	成果・課題等

V 教育委員会の運営状況

教育委員会の運営状況について、「教育委員会委員」及び「教育委員会定例会・臨時会」における議案・報告，協議事項・一般報告事項の内容・件数，研修等への参加，主催事業などのその他の活動について報告します。

■教育委員会委員（平成24年度在籍）

職名	氏名	任期	期別
委員長	海田 征夫	平成20年11月1日～平成24年10月31日	2
	斎藤 勝	平成24年11月1日～平成28年10月31日	1
委員長職務代理者	高橋 容子	平成22年4月1日～平成26年3月31日	2
委員	大野 金人	平成23年10月1日～平成27年9月30日	2
委員	鈴木 麻里子	平成24年1月1日～平成26年9月30日	1
教育長	藤後 茂男	平成24年11月1日～平成28年10月31日	2

■会議開催実績（教育委員会会議における議事，協議事項・報告事項一覧）

平成24年第4回定例会（H24.4.18）

報告事項

- (1) 平成23年度主要施策（事業）について
- (2) 平成24年度全国学力・学習状況調査について

協議事項

平成24年度計画訪問について

平成24年第5回定例会（H24.5.23）

議 事

- 議案第 9号 龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会委員の任用について
- 議案第10号 龍ヶ崎市スポーツ大会出場補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 議案第11号 龍ヶ崎市社会教育委員の任用について
- 議案第12号 龍ヶ崎市図書館協議会委員の任用について
- 議案第13号 龍ヶ崎市文化財保護審議会委員の任用について
- 議案第14号 龍ヶ崎市障がい児就学指導委員会委員の任用について
- 議案第15号 龍ヶ崎市学校給食センター運営委員会委員の任用について
- 報告第 5号 専決処分の承認を求めることについて（茨城県教育委員会の権限に関する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案について）
- 報告第 6号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第1号)に対する同意について）

報告事項

- (1) 平成24年度全国学力・学習状況調査について
- (2) 平成24年度主要施策（事業）について

協議事項

学校長会との意見交換会について

平成24年第6回定例会（H 24. 6. 27）

議 事

- 議案第16号 龍ヶ崎市学区審議会委員の任用について
- 議案第17号 龍ヶ崎市奨学金支給規則の一部を改正する規則について
- 報告第7号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市スポーツ大会出場激励金交付要綱の一部を改正する告示について）

報告事項

平成24年第2回市議会定例会における一般質問答弁状況について

協議事項

義務教育諸学校の教科用図書の採択の仕方について

平成24年第7回定例会（H 24. 7. 25）

議 事

- 議案第18号 龍ヶ崎市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例案に対する同意について
- 議案第19号 平成25年度使用教科用図書の採択について

平成24年第8回定例会（H 24. 8. 22）

議 事

- 議案第20号 龍ヶ崎市障がい児就学指導委員会委員の任用について
- 報告第8号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第2号）に対する同意について）

協議事項

- (1) 特色ある学校づくりについて
- (2) 平成24年度計画訪問（後期）について
- (3) 成人式の開催について

報告事項

- (1) 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 長戸小学校適正規模に関するアンケート集計結果（中間報告）
- (3) 平成24年度龍ヶ崎教育の日推進事業について

平成24年第9回定例会（H 24. 9. 26）

議 事

- 議案第21号 龍ヶ崎市教育委員会事務局等職員の時差勤務に関する規程の一部を改正する訓令について
- 議案第22号 龍ヶ崎市教育委員会住民基本台帳カードの利用に関する規則について
- 議案第23号 龍ヶ崎市立図書館管理規則の一部を改正する規則について
- 報告第9号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市教育委員会関係職員の任免その他の人事について）

報告事項

平成24年第3回市議会定例会における一般質問答弁状況について

平成24年第10回定例会（H 24. 10. 25）

議 事

報告第10号 専決処分の承認を求めることについて（県費負担教職員の任免その他の人事について）

協議事項

- （1）平成24年度龍ヶ崎市一般会計補正予算について
- （2）平成23年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書の提出について

報告事項

- （1）指定管理者制度検討状況について
 - ア 総合運動公園等
 - イ 中央図書館
- （2）龍ヶ崎教育の日推進事業について

平成24年11回定例会（H 24. 11. 21）

議 事

議案第24号 平成23年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書の提出について

議案第25号 龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会委員の任用について

報告第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第4号）に対する同意について）

協議事項

- （1）学校事務の共同実施について
- （2）語学指導事業に係る契約形態について

報告事項

- （1）スポーツ推進計画（改訂版）策定に係る市民意識調査について
- （2）委託業者について
 - ア スポーツ振興課
 - イ 中央図書館
 - ウ 学務課
 - エ 学校給食センター

平成24年第12回定例会（H 24. 12. 26）

議 事

議案第26号 龍ヶ崎市立学校管理規則の一部を改正する規則について

議案第27号 龍ヶ崎市立学校事務の共同実施に関する規程について

報告事項

- （1）平成24年第4回市議会定例会における一般質問答弁状況等について
- （2）平成24年度龍ヶ崎教育の日推進事業について
- （3）平成25年成人式について

平成 25 年第 1 回定例会（H 25. 1. 23）

議 事

- 議案第 1 号 龍ヶ崎市都市公園条例案に対する同意について
 議案第 2 号 龍ヶ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例案に対する同意について
 議案第 3 号 龍ヶ崎市運動公園の設置及び管理に関する条例案に対する同意について
 議案第 4 号 龍ヶ崎市高砂運動広場の設置及び管理に関する条例案に対する同意について

協議事項

- (1) 平成 25 年度全国学力・学習状況調査の実施について
 (2) 特色ある学校づくり事業要項について
 (3) 体罰について

報告事項

- (1) 成人式について
 (2) 中学校駅伝大会について

平成 25 年第 2 回定例会（H 25. 2. 19）

議 事

- 報告第 1 号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市学校給食センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について）
 報告第 2 号 専決処分の承認を求めることについて（平成 25 年度龍ヶ崎市一般会計予算に対する同意について）
 報告第 3 号 専決処分の承認を求めることについて（平成 24 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第 5 号）に対する同意について）

協議事項

- (1) 龍ヶ崎市都市公園条例施行規則について
 (2) 龍ヶ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則について
 (3) 龍ヶ崎市運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則について
 (4) 龍ヶ崎市高砂運動広場の設置及び管理に関する条例施行規則について
 (5) 平成 25 年度龍ヶ崎市学校教育指導方針について
 (6) 児童生徒の健全育成に関する警察と学校との連絡制度について

平成 25 年第 3 回定例会（H 25. 3. 27）

議 事

- 議案第 5 号 龍ヶ崎市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
 議案第 6 号 平成 25 年度龍ヶ崎市学校教育指導方針について
 議案第 7 号 教育委員会に対する事務委任の協議に対する同意について
 議案第 8 号 龍ヶ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則について
 議案第 9 号 龍ヶ崎市運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則について
 議案第 10 号 龍ヶ崎市高砂運動広場の設置及び管理に関する条例施行規則について
 報告第 4 号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市教育委員会関係職員の任免その他の人事について）
 報告第 5 号 専決処分の承認を求めることについて（平成 24 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第 6 号）に対する同意について）

報告事項

- (1) 平成 25 年第 1 回市議会定例会における一般質問答弁状況等について
 (2) 平成 24 年度市内中学校卒業生の進路状況について

協議事項

長戸小学校適正規模検討委員会の意見書の提出について

平成24年第2回臨時会（H 24. 11. 1）

議 事

- 選挙第 1号 龍ヶ崎市教育委員会委員長の選挙について
- 選挙第 2号 龍ヶ崎市教育委員会委員長職務代理者の指定について
- 議案第 2号 龍ヶ崎市教育委員会教育長の任命について

平成25年第1回臨時会（H 25. 3. 15）

議 事

- 議案第 1号 県費負担教職員の任免その他の進退の内申について

■意見交換会実績

- 第1回 「地域との連携による学校の防災力強化推進事業」及び「実践的防災教育推進支援事業」市町村説明会協議内容について（H 24. 6. 27）
- 第2回 いじめ問題について（H 24. 8. 22）
- 第3回 長戸小学校について（H 24. 9. 26）
- 第4回 「いじめ防止条例並びに第三者委員会の設置に関する意見交換会」及び「長戸小学校適正規模に関する報告」について（H 24. 12. 26）
- 第5回 体罰について（H 25. 2. 19）

■会議・研修会・講演会参加実績

- 茨城県都市教育長協議会総会及び茨城県市町村教育長協議会総会（H 24. 4. 19）：教育長出席
- 茨城県市町村教育長・学校長会議（H 24. 4. 20）：教育長出席
- 教育施策に係る会議（H 24. 4. 26）：教育長出席
- 茨城県県南教育長連絡協議会役員会・総会（H 24. 5. 21）：教育長出席
- 第1回市町村教育委員会教育長会議（H 24. 5. 28）：教育長出席
- 茨城県市町村教育委員会連合会総会・講演会（H 24. 5. 29）：委員・教育長出席
- 第1回第8採択地区教科用図書選定協議会（H 24. 6. 27）：委員長・教育長出席
- 第1回管内市町村教育委員会教育長会議（H 24. 7. 9）：委員長・教育長出席
- 第2回第8採択地区教科用図書選定協議会（H 24. 7. 12）：委員長・教育長出席
- 茨城県市町村教育長協議会夏季研修会（H 24. 7. 31）：教育長出席
- いじめ問題に係る市町村教育委員会委員長緊急会議（H 24. 8. 1）：委員長出席
- 茨城県市町村教育委員会教育委員研究協議会・情報交換会（H 24. 8. 30）：委員長・
委員長職務代理者・委員・教育長出席
- 第2回市町村教育委員会教育長会議（H 24. 10. 17）：教育長出席
- 第2回管内市町村教育委員会教育長会議（H 24. 11. 19）：教育長出席
- 茨城県県南教育長連絡協議会研修会（H 24. 11. 19）：教育長出席
- 第3回管内市町村教育委員会教育長会議（H 25. 1. 8）：教育長出席
- 茨城県市町村教育長協議会冬期研修会（H 25. 1. 25）：教育長出席
- 第4回管内市町村教育委員会教育長会議（H 25. 2. 8）：教育長代理者出席
- 茨城県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会（H 25. 2. 15）：教育長出席
- 第5回管内市町村教育委員会教育長会議（H 25. 3. 14）：教育長出席

■その他の参加実績

- 学校計画訪問（H 24. 6月～11月）19校実施：5名出席
- 教育の日推進事業運営（H 24. 11月）：3名参加

■会議運営の改善について

教育委員会定例会における、教育長報告及び市議会定例会の一般質問答弁状況等の報告にあたり、概要をまとめたものを資料として配布しました。これに伴い、会議時間を有効に活用するとともに、より活発な意見交換・発言につながるよう見直しました。

また、会議時間を有効に活用することで、定例会後に意見交換会を開催する時間を設けることができました。

平成 24 年度
龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

発行 龍ヶ崎市教育委員会

編集 学務課

〒301-8611 茨城県龍ヶ崎市 3710 番地

電話 : 0297 (60) 1561 / F A X : 0297 (60) 1582

E-mail gakumu@city.ryugasaki.ibaraki.jp

発行 平成 25 年 8 月